祈りの回廊

2021年10月
〜2022年3月
秋冬版

聖徳太子とともに生きた女性たち

社寺ゆかりの食をめぐり味わう

東の渋沢、西の五代 時代を動かした実業家と奈良

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

「特別講話」中宮寺　日野西光尊師
龍田大社　稲熊憲彦氏

「天寿国曼荼羅繍帳」提供：飛鳥園

聖徳太子とともに生きた女性たち

今年は聖徳太子没後1400年。聖徳太子の偉業を知るとき、聖徳太子に影響を与え、支え合った女性達がいたことにも気づかされます。太子との関わりに思いを馳せ、奈良県内に残るゆかりの地を訪ねてみませんか。

推古天皇

聖徳太子の叔母で、日本最初の女性天皇です。推古天皇は即位した翌年、当時20歳と年若い太子を皇太子にしただけでなく、摂政に任命しました。当時日本は大陸を統一した隋との国交調整が急務でした。推古天皇は国際的に通用する国の基盤制度の立案や、仏教興隆政策を太子・馬子と共に作り上げていきました。太子が住んだ斑鳩宮は、外交の窓口・難波津（大阪湾）と飛鳥のちょうど中間にあります。太子はそこから筋違道（太子道）を通り、推古天皇が執政する飛鳥の小墾田宮に通っていたようです。

飛鳥寺

蘇我馬子が建立した日本最古の寺院。606年（または609年）に完成した、飛鳥大仏は当時の姿を今に伝える。

明日香村飛鳥682
0744-54-2126
MAP P19 D a-2

小墾田宮推定地（雷丘東方遺跡）

推古天皇が執政した宮の推定地の一つ。「小治田宮」と書かれた8世紀末頃とみられる墨書土器が出土している。

明日香村雷（雷丘東方遺跡）
0744-54-5600
（明日香村教育委員会 文化財課）
MAP P19 D a-2

豊浦宮跡（尚原寺）

推古天皇が即位した豊浦宮の推定地。推古11（603）年に小墾田宮に遷るまで政治の中心だった。

明日香村豊浦630
0744-54-2512
MAP P19 D a-2

橘寺

かつて欽明天皇の別宮の橘宮があり、穴穂部間人皇后がこの橘宮の厩の前で太子を出産したと寺に伝わっている。

明日香村橘532
0744-54-2026
MAP P19 D a-2

中宮寺跡

母の穴穂部間人皇后が住まいにしていた宮を寺に改めたと伝わる。現在の中宮寺から約500m東方にある。

斑鳩町法隆寺東2、幸前1
0745-70-1200
（斑鳩町文化財活用センター）
MAP P19 C c-1

磐余池辺双槻宮推定地（東池尻・池之内遺跡）

父・用明天皇の宮の推定地の一つ。太子が斑鳩に遷るまで住んだ「上宮」は宮殿の南の上殿にあったという。

橿原市東池尻
MAP P19 D b-1

穴穂部間人皇女

聖徳太子の母。欽明天皇と蘇我小姉君の娘で、用明天皇の皇后。用明天皇との間には4人の皇子がおり、聖徳太子は第一子です。『日本書紀』には、皇后が出産予定日に禁中（宮）を巡察中、厩の戸にあたった拍子に太子を出産したとあります。太子の名に「上宮厩戸豊聰耳太子」と「厩戸」があるのはこのためでしょう。太子は自分の住む斑鳩宮の東に、宮を建てており（現在の中宮寺跡）、自分が都を離れる際、母も共に斑鳩に連れてきており、太子が母を大切に傍に置いていた様子が伺えます。

（1）天皇の住む宮の中、内裏のこと

刀自古郎女

聖徳太子の妃の一人。父は大臣蘇我馬子で、蝦夷は兄に当たります。太子と彼女の間には、長男・山背大兄王が生まれています。山背大兄王は、膳部菩岐々美郎女が産んだ異母妹・春米女王と婚姻しています。太子と、蘇我氏の血を強く引く山背大兄の一族は「上宮王家」として皇位継承を期待されましたが、古人大兄皇子を擁立する蘇我入鹿と対立し、上宮王家は一族で自害し滅亡してしまいました。歴史書には刀自古郎女についての記述は少ないですが、長野県には刀自古郎女が出家して初代上人となった由緒の寺院もあります。

法起寺

『日本霊異記』に、太子の妻・刀自古郎女が住んだ「岡本宮」を山背大兄皇子が寺に改めたとある。

斑鳩町岡本1873
0745-75-5559
MAP P19 C c-1

膳部菩岐々美郎女

聖徳太子の妃の一人。斑鳩周辺の豪族・膳氏の娘です。4人の妃のうち最も多い四男四女を産みました。法隆寺金堂釈迦三尊像の光背の本像制作の由来が書かれた銘文に、「推古29（621）年12月、太子の母が崩御。翌年正月に太子が病になり、続けて膳妃も床に伏した。妃・王子・諸臣らが病気平癒を祈って像の制作を発願したが、2月、先に妃が、翌日太子が亡くなった。像は、子らが司馬鞍首止利仏師に依頼し、翌年に完成した」と太子と妃が亡くなった時の様子が書かれています。

葦垣宮推定地（上宮遺跡公園）

飛鳥時代の土器などが出土していることから、太子と妃が住んだ「葦垣宮」が周辺にあったと推定されている。

斑鳩町法隆寺南3
0745-70-1200
（斑鳩町文化財活用センター）
MAP P19 C c-2

橘大郎娘

聖徳太子の妃の一人で、推古天皇の孫。推古天皇はもう一人、娘の菟道貝蛸皇女も太子の妃としており、才長けた甥とより強く関係を深めようとしていた様子が感じられます。中宮寺に伝わる「天寿国曼荼羅繍帳」の銘文には、太子の母・穴穂部間人皇后と太子が相次いで亡くなったことを橘大郎娘が大変悲しみ、「太子が天寿国で往生した姿が見たい」と望んだことを推古天皇が聞き届け、作らせたものであると書かれています。

本誌表紙写真

天寿国曼荼羅繍帳

実物は奈良国立博物館に寄託されており、飛鳥時代の染色・刺繍技術・仏教文化を伝える貴重な宝物として出陳されることがある。中宮寺本堂には複製が安置されている。

中宮寺門跡特別講話 P10

橘の女性たちと聖徳太子信仰

「一度に10人の訴えを聴くことができた」「助けた飢人は聖人だった」など、様々な超人的な伝説がある太子は、死後〝聖人・聖徳太子〟として太子信仰の対象となりました。特に藤原不比等の妻で、光明皇后の母でもある橘三千代は熱心に信仰していたようで、太子が建立した法隆寺に三千代の念持仏が伝わっているほか、娘の光明皇后と牟漏女王、孫の橘古那可智なども法隆寺に仏具や堂を寄進しています。奈良時代になって、荒れた宮跡を嘆いた僧・行信が、光明皇后や娘の阿倍内親王に依頼して夢殿を建立し、そこで聖霊会(2)を始めたとされ、太子信仰の地になりました。

平安時代になると、太子は極楽往生した先人として、また、聖人や観音菩薩の生まれ変わりとして語られるようになり、今も極楽往生を求める人々に深く信仰されています。

（2）聖徳太子の忌日に行われる法要で、現在も太子にゆかりのある全国の寺で営まれる

伝橘夫人念持仏及び厨子
写真：（株）飛鳥園

もっと知りたい聖徳太子

聖徳太子に関わる人（動物）たち

相原嘉之

1967年生まれ。1990年、奈良大学文学部文化財学科卒業。奈良国立文化財研究所・明日香村教育委員会などを経て、現在奈良大学文学部文化財学科准教授。

●今回は聖徳太子周囲の女性と、そのゆかりの地を紹介しました。紹介した人物に対して、相原先生はどのような印象をお持ちでしょうか？

相原「まず、推古天皇は『日本書紀』に「容姿端麗で才能がある」と書かれていますね。推古天皇、聖徳太子、蘇我馬子の3人の役割ははっきりしていました。企画立案の太子と、実行部隊の馬子を天皇が上手く取りまとめていたイメージです。この時代に遣隋使派遣や冠位十二階など重要な国の基盤が作られました。3人の関係がうまくいっていたからこそ、推古天皇による治世が30年余りも続いたのだと考えられます。

太子の母・穴穂部間人皇女は用明天皇の皇后ですが、残っている事績があまり無いため、印象が薄いですね。ただ、息子の聖徳太子、その妃の膳部菩岐々美郎女と3人一緒に合葬されて、お墓に入っています。最初から意図したものかはわかりませんが、古墳の石室は3人が入るように作られています。この時代、追葬の文化はありますが、合葬の例は少なく、珍しいです。聖徳太子と膳部菩岐々美郎女は一日差で、穴穂部間人皇女はその数ヵ月前に亡くなってます。合葬は3人の亡くなった時期が影響しているのかもしれませんが、この3人は本当に仲良しだったんだと思うんですよね。嫁姑問題はなかったんじゃないかな（笑）。」

●聖徳太子の妃たちについては？

相原「刀自古郎女は蘇我氏の馬子の娘で、聖徳太子の長男の山背大兄王の母でもあります。刀自古郎女や、推古天皇の娘の菟道貝蛸皇女、孫の橘大郎娘も、記録に残っていることが少なく人物像が想像しにくい妃たちですね。血筋から見ると皇室系や蘇我系で政略結婚的な要素が強いです。ところが膳部菩岐々美郎女だけは、お父さんが斑鳩周辺に拠点を持っていたこと以外に大きな要素がありません。先ほども話したように、太子は他の位の高い妃ではなく、膳部菩岐々美郎女と埋葬されています。太子の前日に彼女は亡くなっていますが、多くの妃の中でも一番身近にいて、聖徳太子が一番愛していたのではないかと想像しています。」

●今回は太子の身近な女性を取り上げましたが、他に聖徳太子の周辺にはどんな存在がありましたか？

相原「人に限らず、動物もいますね。動物なら愛犬の雪丸か馬の黒駒ですね。雪丸も黒駒も正史には出てきませんが、雪丸は『達磨寺略記』に登場します。雪丸は人の言葉を話せたり、お経が読めたようです。達磨寺には江戸時代に作られた石像がありますね。達磨寺のある王寺町では現在、マスコットキャラクターとしても愛されています。愛馬の黒駒は太子を乗せて飛翔した等の伝承がありますが、『上宮聖徳太子伝補闕記』、『聖徳太子伝暦』などに登場します。太子が住んでいた斑鳩は、当時の首都・飛鳥の副都心的な位置づけだったのでしょう。聖徳太子がプランナーの役割で、人を動かす部分を馬子に任せていたのであれば、仕事はリモートオフィスでもできた。とはいえ、飛鳥に行くこともあり、そのときは筋違道を通って通勤していました。筋違道は20数キロの道のりです。徒歩とは考えづらい。通勤手段は黒駒だったのでしょうね。」

●奈良県内の聖徳太子ゆかりの場所で相原先生のお勧めを教えてください。

相原「飛鳥まで通った筋違道、物部氏の戦いで祈願し、寅年、寅日、寅刻に毘沙門天が出現した伝説がある信貴山、そして王道ですが法隆寺ですね。金堂や夢殿は太子を感じられる場所です。」

聖徳太子と動物たち

雪丸

太子の愛犬と伝わる。慶長12（1607）年の『太子伝撰集抄別要』に登場する「白雪丸」という白い犬がモデルとも。達磨寺境内に安置されている石造雪丸像は町の有形文化財で、元旦に鳴けばその年は豊作に恵まれるという伝承も。

MAP P19 C b-2 達磨寺

（白山神社　三宅町）

黒駒

平安時代初期に成立した『上宮聖徳太子伝補闕記』以後の文献に数多く登場する太子の愛馬。空を飛び、富士山の頂上を数日で往復したなどの伝承がある。中宮寺跡の南にある駒塚古墳は黒駒の墓と伝わっている。

MAP P19 C c-1 駒塚古墳
MAP P19 C d-2 白山神社

スマホで巡礼

祈りの回廊アプリ スマホで巡礼 のご案内

祈りの回廊特別巡礼コースや、奈良県内の霊場会・巡礼会の参拝記録を残せる祈りの回廊オリジナルの公式アプリです。
2021年3月の運用開始より、多くの利用者様からご好評いただき、2021-2022年秋冬版特集記事に連動した特別巡礼コース2コースを追加して、キャンペーン第2弾を開催します。
各社寺を巡り、応募すると、抽選でコースごとのオリジナルクリアファイルをプレゼントいたします。

1 対象社寺を参拝し、アプリを起動するとチェックイン(参拝記録)を残すことができます。

2 各コース中のすべての社寺を巡ると、「満願済み」が赤く表示されるのでここから応募できます。

3 パスコードをフォームに入力し、アンケートに答えて送信を押すと、プレゼント応募が完了です。

各巡礼の社寺の位置を把握する
「社寺の位置確認」を押すとチェックポイントまでの距離が表示されます。

自動チェックインできなかったら
各社寺の詳細画面から手動でもチェックインできます。

電波が届かない社寺の場合
カメラ機能でチェックインするチラシを配布いただくので、電波がある場所でお試しください。

巡礼コース一覧

- 大和七福神八宝霊場
- 大和十三佛霊場
- 奈良大和四寺巡礼
- 中将姫の姿をたどる 祈りの回廊特別巡礼コース（春夏版）
- 大和路秀麗 八十八面観音巡礼
- 大和地蔵十福霊場
- 深吉野四社めぐり

キャンペーン第2弾

祈りの回廊2021-2022 秋冬版特別巡礼コース

2コース追加

東の渋沢、西の五代 時代を動かした実業家と奈良 特別巡礼コース NEW
法隆寺／平城宮跡／吉野神宮／安養寺／てんかわ天和の里
P8-9で紹介

聖徳太子とともに生きた女性たち 特別巡礼コース NEW
豊浦宮跡（向原寺）／飛鳥寺／橘寺／中宮寺／中宮寺跡／法起寺
P2-4で紹介

キャンペーン第2弾 開催期間 2021年10月1日～2022年2月28日

FREE ダウンロード無料

アンケートに答えて応募すると、抽選でオリジナルクリアファイルをプレゼントします！

※各巡礼コースによってオリジナルクリアファイルのデザインは異なります。
※参拝記録は、第2弾キャンペーン期間中も引き継がれます。（期間中に端末の機種変更や、アプリの再インストールをされた場合を除きます）
※第１弾期間中にご応募いただいた方の抽選と発送は10月中頃。第2弾の抽選と発送は3月中頃を予定しています。

祈りの回廊オリジナルクリアファイル
※イラストはイメージです。

Download on the App Store　GET IT ON Google play

「App store」「google play」から
ダウンロードしてご利用ください。

スマホで巡礼

【このアプリは位置情報（GPS）機能を利用します。必ず位置情報取得機能を ON にしてご利用ください】

画面は開発中のものです。実際のアプリ画面は変更となる場合があります。周囲の環境や通信状況、端末の性能によって、動作が不安定または不可能な場合があります。また位置情報（GPS）機能をオフにされた状態では利用できませんので、必ず位置情報をオンにしてからご利用ください。登録社寺の立地によってはGPS電波が届かず、チェックインできない（アプリが起動しない）場合があります。電波が届かない社寺については、各社寺の案内画面に明記しておりますので、社寺で配布しているプリントをお受け取りいただき、電波が届く場所でアプリを起動し、「マーカーカメラを起動してチェックイン」をタップして、プリントのマーカー部にかざしていただくことでチェックインできます。本アプリケーションのご利用に際しては、周囲の状況に注意し、お客様が利用される地域に適用する法律・慣習を遵守した常識的で適正なご利用をお願い致します。本アプリケーションの使用に関しましてお客様自身または第三者に損害が生じた場合、奈良県はその賠償の責任を一切負いかねますことをご了承ください。

※各霊場会・巡礼会社寺の情報は 2021 年 8 月現在の内容です。

社寺ゆかりの食をめぐり味わう

様々な起源や伝来の歴史を持つ奈良。食文化も然り。社寺と関わりを持つものも多くあります。
その由来を紐解けば、それぞれの場に根付く「うまし奈良の食」を、一層深く味わえます。

麺

奈良時代から伝わる「素麺」を始め
麺料理は奈良が誇る郷土食です

「奈良時代、大神神社の神主だった大神朝臣狭井久佐の次男である穀主が疫病と飢饉から民を救いたいと願ったところ、神の啓示を受けて三輪の地で小麦栽培に取り組み、その小麦を原料として作られたものが素麺の起源である」。そのように伝承される三輪素麺を筆頭に、奈良の麺文化は、さまざまな形で綿々と受け継がれています。

大神神社で祭祀が行われる奈良の郷土食代表「素麺」

日本の麺文化のルーツとされる「素麺」。素麺作りの神としても崇敬される大神神社では、毎年2月5日に地元特産の三輪素麺の卸値を占う「卜定祭」があり、三ツ鳥居前の大床で卜定の儀式が行われます。

大神神社「卜定祭」

●素麺

森正
桜井市三輪 535
（大神神社二ノ鳥居前）
0744-43-7411
MAP P19 E a-2

茶人・片桐石州考案の「石州麺」を慈光院でいただく

茶道石州流の開祖・片桐石州が、慈光院で客をもてなすため打ったと伝わる「石州麺」。近年、古書に残る「小泉名物油不入索麺」との記述に忠実に再現され、慈光院でいただけるようになりました。

●石州麺

慈光院
大和郡山市小泉町 865
0743-53-3004
MAP P19 C c-1

春日大社ゆかりの「はくたく」と再現した「春日はくたくうどん」

平安時代の日記に「春日大社でふるまわれた」と記される「餺飥」。小麦粉、米粉、山芋をつないで伸ばした平麺で、うどんのルーツともされます。近年「餺飥うどん」として再現され味わえるようになりました。

●春日はくたくうどん

ならや 東大寺店
奈良市春日野町16
（夢風ひろば内）
0742-23-5233
MAP P18 A d-2

味噌

遣唐使が伝えた「醤」を祖先に持つ
伝統的発酵食品

藤原京跡から発掘された木簡には「未醤」、平城京跡から発掘された木簡には「醤」の字が見つかっています。これらはわたしたちが良く知る「味噌」の祖先です。高貴な人々の食べものから、時代を下るごとに生活に欠かせない栄養価の高い食品として広まっていった味噌。奈良県下の寺院でも、それぞれ工夫を凝らした味噌が醸造されました。

年の瀬のふるまいで大人気 寶山寺の「宝山寺みそ」

毎年12月1日に行われる寶山寺の「聖天厄除大根炊き」では、お神酒で炊いて特製の味噌だれをからめた大根が振る舞われます。このたれは甘口辛口2種の「宝山寺みそ」として販売され、人気となっています。

寶山寺「聖天厄除大根炊き」

●宝山寺みそ

寶山寺
生駒市門前町 1-1
0743-73-2006
MAP P20 F a-2

鑑真和上が持ち込み唐招提寺に伝わる「招提みそ」

「招提みそ」は日本に多くのものをもたらした鑑真和上が持ち込んだものの一つとされています。ナスやウリなどの野菜と混ぜ合わせたボリュームのある「招提みそ」を境内で購入することができます。

●招提みそ

唐招提寺
奈良市五条町13-46
0742-33-7900
MAP P18 A a-2

東大寺二月堂の行事・修二会の食に習った「行法味噌」

奈良を代表する伝統行事に「お水取り」として知られる東大寺二月堂の「修二会」があります。この行を勤める練行衆が召し上がる「行法味噌」は、大豆やごぼう入りでご飯によく合います。

●行法味噌

龍美堂
奈良市雑司町 東大寺二月堂南茶所
0742-23-6285
MAP P18 A d-1

interview

正暦寺住職 大原弘信さんに伺いました

清酒のはじまりといまのお話

正暦寺 菩提酛清酒祭
境内で酒母の仕込みが行われ、清酒の試飲やかす汁の振る舞い（有料）も。
令和４年度は１月９日（日）の予定。

酒は仏教とともに伝わってきたと思われ、いくつもの寺で造られるようになっていきました。その中で正暦寺が「日本清酒発祥の地」とされるのは、現在の日本酒の造り方が、正暦寺の酒造りの手法と重なるからです。その手法は、室町時代の『御酒之日記』や、江戸時代の『童蒙酒造記』といった醸造技術をまとめた書物に記され、今に残されました。

菩提山正暦寺で醸された銘酒が「菩提泉」です。菩提山の山と泉をかけたのかもしれませんね。この菩提泉の製法を元に菩提酛という酒母の手法が確立します。中世の寺院醸造の大きな特長は白米を用いて、「酒母を使った酒造り」「段仕込み」「搾り」「火入れ」が行われること。いわゆる濁り酒である、どぶろくにはない過程であり、現在の日本酒造りの基本です。

この技法を復元しての酒造りに、奈良県内の醸造元や奈良県と協力して取り組み、初めて正暦寺で仕込みをしたのが平成11年。毎年、飯米「ヒノヒカリ」での酒造りを重ねてきました。そして今秋は境内を流れる菩提山川の水で育てた酒米「露葉風」を使った新しい酒ができました。境内から採収された乳酸菌、酵母菌を用い、菩提山の石清水を仕込み水とした清酒で、文献にある菩提泉を再現したものです。独特の甘酸っぱさを皆さんに味わっていただけることを楽しみにしております。

境内に立てられた碑。「奈良県菩提酛による清酒製造研究会」に参加する奈良県下8つの蔵元それぞれの菩提酛純米酒は、正暦寺で購入可。一部酒店でも販売されています。

正暦寺
奈良市菩提山町157
0742-62-9569
MAP P18 A d-1

饅頭

日本における発祥の地は奈良
社寺と縁の深い甘味がいろいろ

日本に饅頭の製法を初めて伝えたのは中国からやってきた林浄因だと伝わります。奈良市にある林神社は林浄因を祭神とし、毎年４月19日に「饅頭まつり」を行っています。全国の菓子業者らが参拝、饅頭を献上する珍しい行事です。さまざまなものの発祥地である奈良ですが、日本における饅頭の歴史もここから始まりました。

林神社「饅頭まつり」

林神社（漢國神社内）
奈良市漢国町６
0742-22-0612
MAP P18 A c-2

食べられるのは年に１回 大安寺ゆかりの「大安寺やきもち」

林浄因が作った餅を大安寺に奉納したとされることから再現された「大安寺やきもち」。毎年1月23日の「光仁会」当日、大安寺境内と製造する菓子店でのみ販売される小豆餡の風味豊かな餅菓子です。

大安寺「光仁会」

●大安寺やきもち

大安寺
奈良市大安寺２丁目18-1
0742-61-6312
MAP P18 A b-2

寧楽菓子司 中西与三郎
奈良市脇戸町 23
0742-24-3048
MAP P18 A c-2

春日大社の神饌を模して生まれた「ぶと饅頭」

「ぶと饅頭」は春日大社の神饌「ぶと」に倣った銘菓です。「ぶと」は遣唐使が伝えた「唐菓子」の一種。それを模り、小麦粉で作った皮で小豆餡を包み、表面に砂糖をまぶした揚げ饅頭です。

●ぶと饅頭

萬々堂通則
奈良市橋本町34
0742-22-2044
MAP P18 A c-2

伊勢詣の人々にブーム 長谷寺門前の「女夫饅頭」

江戸時代に伊勢詣りの人々の人気を博した大和の名物を復刻した「女夫饅頭」。こし餡を包んだ白い上用饅頭と紅い酒饅頭で、さらに粒餡を挟んだ一品を、長谷寺の門前町で味わうことができます。

●女夫饅頭

やまとびとのこころ店
桜井市初瀬 830
0744-55-2221
MAP P21 I a-1
※土・日・祝日の営業

このパンフレットに掲載している情報は 2021年8月現在の情報で掲載内容は変更となる場合があります。営業時間や定休日、予約や購入については各店舗にお問い合わせください。

東の渋沢、西の五代

時代を動かした実業家と奈良

1926（大正15）年に建てられた奈良県内では珍しいギリシア様式の近代建築物。1997（平成9）年に国の登録有形文化財になっています。正面のイオニア式※円柱に施された「羊」のレリーフが目を引きます。

※古代ギリシア建築の柱の様式のひとつ。

日本の近代化を推し進めた経済人

２０２４年、20年ぶりに紙幣の顔が一新されます。一万円札の新しい顔は渋沢栄一。「日本資本主義の父」とも呼ばれる渋沢は、元は一橋慶喜の家臣でしたが、慶喜が江戸幕府第15代将軍になったことをきっかけに幕臣となりました。慶喜の弟・昭武のパリ万博見学に随行して渡航し、鉄道や軍事施設、製鉄所、造幣局、銀行などを見学。江戸期のうちにヨーロッパの進んだ資本主義経済を学びました。しかし、この渡航中に大政奉還が起き、江戸幕府は幕を閉じることになりました。

帰国後、明治新政府に招かれた渋沢は、１８６９（明治２）年に民部省（１８７１（明治４）年大蔵省に統合）に入省。銀行制度や租税制度などの設計に貢献します。１８７３（明治６）年に退官し、その後は実業家となり、紡績会社や鉄道、電気など数々の会社を設立しました。渋沢が設立に関与した会社は約５００にも及んでいます。

このほか、「道徳経済合一（道徳的な公利公益と、経済は両立すべき）」の理念を持つ渋沢は社会福祉や教育、文化財保護の分野でも運営に携わり、寄付を募る、寄付をするなどして約６００もの事業に関与しました。

奈良に残る渋沢ゆかりの地をご紹介します。

渋沢栄一

（国立国会図書館ウェブサイトから転載）

1840（天保11）年生まれ、1931（昭和6）年没。欧州諸国から近代的な技術・知識を日本に取り入れ、明治維新以降の近代経済の礎を築いた。

渋沢栄一ゆかりの地

法隆寺

生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1-1
0745-75-2555
MAP P19 C c-1

国立国会図書館デジタルコレクション『聖徳太子一千三百年御忌法用記念写真帖』より

100年前に行われた聖徳太子千三百年御遠忌法要は当時26万人の人出を集めたそうです。当時の様子は『聖徳太子一千三百年御忌法用記念写真帖』から垣間見ることができます（国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能）

平城宮跡

奈良市二条大路南3丁目5－番1号
MAP P18 A a-1

写真提供:奈良市 奈良県立図書情報館今昔写真WEB蔵

「奈良大極殿址（だいごくでんあと）保存会」により保存運動と土地買収が進められましたが、1922（大正11）年に平城宮跡が国の史蹟に指定されたことにより、保存会は記念碑を建てて解散しました。記念碑は今も、現在の近鉄線の踏切の近くにあります。

渋沢栄一が関わった今に伝わる奈良での事業

渋沢は全国で数多くの銀行の設立指導や援助をしています。奈良では旧郡山藩主・柳沢保申（やすのぶ）が発起人となり、渋沢の指導の下、第六十八国立銀行が設立されました。この銀行はその後（株）六十八銀行となり、1928（昭和3）年に他3つの銀行と合併して、現在の（株）南都銀行になります。

経済だけではなく、奈良の信仰・文化面でも大きな役割を果たしています。今年2021年は聖徳太子の没後1400年にあたり、法隆寺で御遠忌法要が営まれましたが、100年前の1300年の法要には、渋沢が関わっています。1917（大正6）年、法要の費用の工面に悩んでいた関係者から協力を求められた渋沢は、聖徳太子千三百年御忌奉賛会の副会長を引き受けました。1918（大正7）年の5月には丸の内の東京銀行倶楽部で奉賛会発会式を、1920（大正9）年には上野公園の竹の台陳列館で記念展覧会を開催。太子の功績を都内の人々にも広く伝えることができました。予定の倍以上の寄付金も集まり、1921（大正10）年、4月11日から17日まで、法隆寺で盛大な聖徳太子千三百年御遠忌法要が行われました。

同時期、渋沢は平城宮跡の保存にも関わっています。棚田嘉十郎や溝辺文四郎らが保存活動をしていたことは知られていますが、渋沢はその後1913（大正2）年に結成された「奈良大極殿址保存会」の発起人の一人です。この保存会は、大極殿跡に記念碑、朝堂院跡に標石28基を設置し、遺跡の場所を明らかにし保存することを目標にしていました。渋沢は評議員となり趣意書や勧誘状に名を連ねたほか、自身も寄付しています。

他にも、1924（大正13）年には、後醍醐天皇を祀る吉野神宮の奉賛会の顧問に就任し、寄付の募集に尽力しています。

南都銀行本店
奈良市橋本町16
0742-22-1131
MAP P18 A c-2

天川村の鉱山も手掛けた五代友厚

五代友厚
（国立国会図書館ウェブサイトから転載）

江戸時代から明治にかけて大阪で活躍した経済人・五代友厚は、渋沢栄一と同時代の人物です。元は薩摩（鹿児島県）藩士ですが、1857（安政4）年長崎で航海、測量、数学などを学び、1865（慶応元）年には渡英、江戸期から外交を経験しています。「商社合力」という、それまでのように家単位で事業を行うのではなく、家を超えて資本・人材を結集する事業形態を提言するなど、近代的な経済・経営の知識を身につけていました。

1868（慶応4）年、五代は明治新政府の外国事務掛となり、大阪在勤になります。大阪港の開港、大阪造幣局の誘致などを行いました。1869（明治2）年に退官後は大阪を中心に活躍する実業家として、為替、銀行、商工会議所、株式取引所など様々な事業に携わりました。

五代は特に鉄鉱業に力を入れており、鉱山王とも呼ばれました。開鉱や買収などで全国に26か所の鉱山を所有しましたが、最初の鉱山は奈良の天和鉱山でした。1871（明治4）年、江戸期には幕府の直営だった天川村和田の銅山を入手したのです。五代は地元の和田小学校のために建物を提供したり、寄付をしたりしています。

また、五代の妻・豊子の実家は田原本町です。豊子の兄、森山茂は五代と同じころに外国事務局で外国官書記として務めていました。茂が1863（文久3）年の天誅組の変に加ったため幕吏に追われ、豊子ら兄弟は安養寺の床下に匿（かくま）われたという話が伝わっています。

五代友厚ゆかりの地

安養寺
磯城郡田原本町大字八尾40
MAP P19 C d-2

五代の妻・豊子は田原本町八尾出身。五代が34歳の再婚で、豊子は19歳でした。安養寺は豊子の実家（萱野家）の菩提寺でもあります。

てんかわ天和の里
吉野郡天川村大字和田477
080-1470-8845
MAP P21 全体マップ

2002（平成14）年に廃校になりましたが、現在地元の有志が集まり交流拠点として運営しています。五代の生涯を詳しく紹介する教室もあります。

祈りの回廊

中宮寺 門跡 日野西 光尊（ひのにし こうそん） 師

中宮寺門跡。1930年生まれ。旧華族。1951年に幼稚園教諭に就き、1961年に30歳で中宮寺に入り、得度。1964年から現職を務める。

特別講話 37

日々、全世界が仲良くあれと願って

中宮寺は、聖徳太子さまが母である用明天皇皇后・穴穂部間人皇女（あなほべのはしひとのひめみこ）のため、その宮殿をお寺に改められたとされ、ご本尊の国宝・菩薩半跏像（伝如意輪観音）は、聖徳太子さまがお母さまをお偲びになって彫られたと伝わる仏様です。

約六十年前、幼稚園教諭として働いていたところに「皇族や公家の女性が門跡を務めてきた中宮寺が門跡遷下の後、不在になっている」のでぜひという話を頂戴しました。教育の大切さや女性の手助けができることに使命感を抱いて仕事に取り組んでいましたが、飛鳥時代から信仰を集めてきた場所で、尼僧となって女性の相談に乗り、仏様にお仕えするという一生は、大変な生き甲斐があることだと思い、この道を選びました。全く迷いませんでした。

長いお務めの間には、いろんなことがありましたね。最近では二〇二〇（令和二）年十一月に東日本大震災から十年を迎える被災地の復興を祈念して「奈良・中宮寺の国宝展」を、宮城県美術館で開催いたしました。ご本尊様も仙台へお出ましいただいたのですよ。

夏には「中宮寺女児心身修練会（女児一休さん）」と「中宮寺女性心身修練会（尼僧体験）」を行って参りました。長年の念願であった女性の道場を開くことができ、今年は二十七回目と二十二回目になるところでしたが、コロナ禍の為、昨年に続いて中止としました。

お寺においでいただければ、悩みを聴いたり、ともに祈ったりできます。でも今は難しい状況です。コロナ禍もしかり、世界では争いごとが絶えませんね。世界の皆様が平和に穏やかにすごせますようにと、毎日ご本尊さまに願っています。穴穂部間人皇女もまた平和を求められたすばらしい方だと伝えられています。おそばでお仕えすることは私の幸せです。

本年二〇二一（令和三）年は、聖徳太子一四〇〇年御遠忌という節目の年。「天寿国曼荼羅繍帳（てんじゅこくまんだらしゅうちょう）」（※1）は日本最古の刺繍遺品で、聖徳太子を偲んで、天寿国のありさまが描かれています。ぜひご覧ください。また柔らかなほほえみのご本尊様と向き合って自分を見つめ直す時間をもっていただくのも良いでしょう。毎週土曜日には相談室を設けています。皆様に安心してお参りいただける日が来ることを心から願っています。

（※1）「天寿国曼荼羅繍帳」実物は奈良国立博物館に寄託。中宮寺本堂には複製が安置されています。

奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺北 1-1-2
MAP P19 C c-1
0745-75-2106
●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩約8分●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「中宮寺前」下車、徒歩約5分
http://www.chuguji.jp/

特別講話

龍田大社 禰宜 稲熊（いなぐま） 憲彦（のりひこ） 氏

龍田大社 禰宜。1983年生まれ。奈良県出身。2006年に皇學館大学を卒業し龍田大社へ奉職。2014年から現職を勤める。

特別講話 38

世に調和をもたらす風を祀る

龍田大社の創建につきましては、「第十代・崇神天皇（すじんてんのう）の時代に凶作や疫病が流行、その最中のご神託により龍田大社が造営されると、作物は豊作、疫病は退散した」と伝えられています。主祭神は天御柱大神（あめのみはしらのおおかみ）、国御柱大神（くにのみはしらのおおかみ）。男神と女神の、男女一対の風を司る神様で、風難排除、五穀豊穣、健康長寿、交通安全と、幅広くご守護くださいます。

風は目に見ることはできませんが、あらゆるものの調和を図ってくれる存在です。例えば、日本は稲作とともに発展してきましたが、稲の受粉は風によって行われます。一方で、台風などで稲が倒されてしまうこともあります。大きく風に左右されるんですね。そこを治めるための神事が「風鎮大祭」。「過ぎる（すぎる）」の「過」の字は「過ち（あやまち）」とも読みます。風が強すぎると台風になり、大きな被害が生じます。過ぎた風で過ちが起きないよう祈願するのです。

ご祈祷をしていると、あちらこちらから風が吹いてくるということが、よくあります。ご参拝の皆様が「良い風が吹いていますね」とおっしゃることもしばしばございます。そんな時は「神様が近くで聞いてくださっているのだなあ」と感じますし、ご参拝の皆様も「神様が快く出迎えてくださっている」と思ってくださったら良いですね。龍田大社が鎮座しますのは、金剛生駒の山並みの切れ目、風の通り道です。西からの良い風が吹き込み、またその良い風を平城の都に送り込む役割を担っていたのでしょう。

最初に天御柱大神、国御柱大神のお話を致しましたが、もう一つ、対で知っていただきたいのが、ともに大和川沿いにある神社で北葛城郡河合町の廣瀬大社です。廣瀬大社は水の神を、当社は風の神を祀っています。ともに稲作に欠かせない神で、これもまた一対で調和を図っているのです。

龍田大社がある一帯は紅葉の名所が多いですが、実は境内で龍田大社ならではの紅葉狩りを楽しんでいただけるのはご存知でしょうか。境内の落ち葉の中に、まれに「八重の楓」が混じっているんですよ。文字通り葉先が八つになった楓の葉っぱで、龍田大社のご神紋になっています。ぜひ足元に気を付けて探してみてください。

奈良県生駒郡三郷町立野南1-29-1
MAP P19 C b-2
0745-73-1138
JR 三郷駅より徒歩約 5 分
https://tatsutataisha.jp/

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

普段は拝観できない秘宝・秘仏の特別開帳を紹介

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。拝観の際は、マスク着用など感染予防を心がけてください。
（掲載内容は2021年8月現在のものです）

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」の情報は、「祈りの回廊」公式ホームページでもご確認いただけます。
http://inori.nara-kankou.or.jp/

興福寺（こうふくじ）

MAP A c-2

特別公開 2021 ―五重塔初層特別公開―（とくべつこうかい ごじゅうのとうしょそうとくべつこうかい） 国宝

前期：10/9(土)～11/23(火・祝)、後期：2022.3/1(火)～3/31(木)

来年度から約120年ぶりの大規模修理が予定されている五重塔を特別開扉。薬師如来像、釈迦如来像、阿弥陀如来像、弥勒如来像、それぞれ左右に脇侍を従えた三尊像形式での合計十二軀を拝観することができます。10/29(金)～11/20(土)の毎週金・土曜日(11/12、13は除く)は17時半から20時まで初めての夜間特別拝観も実施。

五重塔〈国宝〉
写真：興福寺

所 奈良市登大路町48 ☎ 0742-22-7755
行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ●近鉄奈良駅から徒歩約5分
HP https://www.kohfukuji.com/

福智院（ふくちいん）

MAP A c-2

宝冠十一面観音菩薩立像（ほうかんじゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう）

10/17(日)～10/23(土)、11/1(月)～11/7(日)、2022.3/17(木)～3/23(水)

本尊・地蔵菩薩坐像（鎌倉時代）は総高約７m。地蔵大仏と呼ばれ、千仏光背を背負っています。宝冠を頭に載せた優美な十一面観音菩薩立像は、明治の廃仏毀釈の後、お迎えした客仏です。

宝冠十一面観音菩薩立像
写真：㈱飛鳥園

所 奈良市福智院町46
☎ 0742-22-1358
行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ

春日大社（かすがたいしゃ）

MAP A d-2

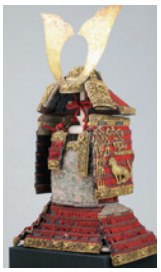
❶秋季特別展 金工の美―王朝の優美な装飾から豪華な鎧の金具まで―（しゅうきとくべつてん きんこうのび おうちょうのゆうびなそうしょくからごうかなよろいのかなぐまで）
同時開催 最強の疫病終息の神―水谷社に祀る牛頭天王―（どうじかいさい さいきょうのえきびょうしゅうそくのかみ みずやしゃにまつるごずてんのう）

9/4(土)～12/13(月) 10/18(月)前後期展示替のため休館 国宝など

❷春日若宮 御本殿・内院初公開（かすがわかみや ごほんでん ないいんはつこうかい） 重文

10/2(土)～10/17(日) 10時～、11時～、13時～、14時～（各回先着20名）

❶春日大社が所蔵する国宝の大鎧は究極の飾り金物で豪華に装飾されていることで有名です。また国宝や重要文化財に指定される平安時代の鏡や装飾品などの名宝が数多くあります。さらに同時開催として、古来疫病から人々を救う除疫神として信仰されてきた、摂社水谷神社のご祭神である牛頭天王に注目した企画展も行います。
❷春日若宮おん祭で有名な春日大社の若宮では、20年に一度の式年造替が今年から行われます。4月に若宮様が遷座された後、今回初めて瑞垣に囲まれた内院にお入りいただき、春日造の御本殿を間近で拝観できる特別公開が実施されます。



❶ 左：赤糸威大鎧（竹虎雀飾）〈国宝〉
右：赤糸威大鎧（梅鴬飾）〈国宝〉
写真：春日大社

❷ 春日大社 摂社 若宮
写真：桑原英文

所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788
行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ
●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分
HP https://www.kasugataisha.or.jp/

不空院（ふくういん）

MAP A d-2

本尊・不空羂索観音菩薩坐像など（ほんぞん ふくうけんさくかんのんぼさつざぞう） 重文など

10/17(日)、10/30(土)～11/15(月)

縁切り・縁結びで知られる古刹。「不空」転じて「福」とも。空海が建立を発願したと伝わる八角円堂（江戸時代に倒壊）に奉安されていた本尊のほか、秘仏・宇賀弁財天女も開扉されます。

不空羂索観音菩薩坐像（重文）
写真：不空院

所 奈良市高畑町1365
☎ 0742-26-2910
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町（わりいしちょう）」下車、徒歩約10分
HP https://www.fuku-in.com/

元興寺（がんごうじ）

MAP A c-2

秋季特別展『ならまちの地蔵霊場 十輪院の歴史と信仰』（しゅうきとくべつてん じぞうれいじょう じゅうりんいん れきしとしんこう）

10/23(土)～11/14(日)

十輪院は、奈良時代に元興寺別院として草創されたと伝えられ、鎌倉時代には、矢田寺・東大寺知足院・福智院などと並ぶ奈良を代表する地蔵霊場として知られました。本展では、近年の調査で見出された各種の資料を中心にゆかりの文化財を紹介し、十輪院の歴史をたどります。

境内

所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377
行 ●近鉄奈良駅から徒歩約15分
●JR奈良駅から徒歩約20分
HP https://gangoji-tera.or.jp/

【東大寺 A d-1】①僧形八幡神坐像〈国宝〉《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像（重文）《勧進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像（重文）《公慶堂》：10/5(火) ※転害会
②良弁僧正坐像〈国宝〉《開山堂》、執金剛神立像〈国宝〉《法華堂》、重源上人坐像〈国宝〉、阿弥陀如来立像（重文）、愛染明王坐像（重文）《俊乗堂》：12/16(木) ※良弁忌　※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。

【頭塔 A d-2】史跡頭塔、頭塔石仏など（重文）：10/30(土)～11/15(月)

般若寺（はんにゃじ）

コスモス 9月中旬～11月上旬

MAP A d-1

白鳳秘仏寺宝特別公開（はくほうひぶつじほうとくべつこうかい） 重文など

9/20(月)・(祝)～11/11(木)

聖武天皇が平城京の鬼門鎮護のため堂塔を建立したのが始まり。春～秋、様々な花が境内を彩り、特に「コスモス寺」として有名。十三重石宝塔の軸石から発見された白鳳秘仏や寺宝が公開されます。

所 奈良市般若寺町221
☎ 0742-22-6287
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台（くにみだい）八丁目行きバス「般若寺」下車、徒歩約3分
HP http://www.hannyaji.com/

阿弥陀如来立像（重文）
写真：般若寺

五劫院（ごこういん）

MAP A d-1

涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像（ねはんず・ごこうしゆいあみだぶつざぞう） 重文

2022.2/12(土)～2/18(金)

南都焼討に遭った東大寺の再興に尽力した重源上人が宋から請来したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像は果てしなく長い時間を瞑想されたお姿で、特に頭髪がアフロヘアのように個性的です。涅槃図とともに特別公開されます。

所 奈良市北御門町24
☎ 0742-22-7694
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台（くにみだい）八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

五劫思惟阿弥陀仏坐像（重文）
写真：五劫院

大安寺（だいあんじ）

MAP A b-2

❶本尊・十一面観音菩薩立像（ほんぞん・じゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう） 重文

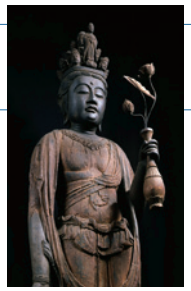
10/1(金)～11/30(火)

❷秘仏・馬頭観音菩薩立像（ひぶつ・ばとうかんのんぼさつりゅうぞう） 重文

2022.3/1(火)～3/31(木)

南都七大寺のひとつで、聖徳太子や空海とゆかりが深い古刹。本尊は疾病を免れ、財宝や食物に恵まれる功徳があるとされ、馬頭観音は災厄を除く観音様として信仰されています。

所 奈良市大安寺2-18-1 ☎ 0742-61-6312
行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町（しらつちちょう）行きバス「大安寺」下車、徒歩約10分●JR奈良駅から徒歩約25分
HP http://www.daianji.or.jp/


❶十一面観音菩薩立像（重文）
写真：(株)飛鳥園

帯解寺（おびとけでら）

MAP A d-1

❶秘仏・秘宝特別公開（ひぶつ・ひほうとくべつこうかい） 重文など

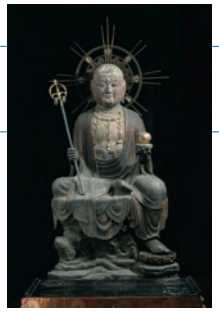
11/12(金)～11/18(木)

❷令和４年春 秘仏公開（れいわねんはる ひぶつこうかい） 重文など

2022.3/1(火)～3/8(火)（予定）

本尊・帯解子安地蔵菩薩は求子や安産に霊験あらたかで、全国から多くの祈願が寄せられます。本尊のほか、春日赤童子画像、虚空蔵菩薩坐像などが公開されます。

所 奈良市今市町734 ☎ 0742-61-3861
行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分●近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分
HP http://www.obitokedera.or.jp/


帯解子安地蔵菩薩像（重文）
写真：(株)飛鳥園

不退寺（ふたいじ）

紅葉 11月下旬　睡蓮 ～11月頃　椿 10月～4月

MAP A b-1

在原業平朝臣画像、寺宝特別展（ありわらのなりひらあそんがぞう、じほうとくべつてん）

10/1(金)～11/30(火)、2022.3/1(火)～5/31(火)

六歌仙のひとり在原業平ゆかりの古刹で、正式名称は不退転法輪寺。本尊は業平自作とされる聖観音菩薩立像。在原業平朝臣画像や寺宝の公開時期は、紅葉や山茶花・椿・レンギョウなどが見頃です。

所 奈良市法蓮町517 ☎ 0742-22-5278
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP http://www3.kcn.ne.jp/~futaiji/

在原業平朝臣画像
写真：永野鹿鳴荘

興福院（こんぷいん）

紅葉 11月

MAP A c-1

静寂に包まれた佐保路の尼寺（せいじゃくにつつまれたさほじのあまでら）
―阿弥陀三尊像と小堀遠州ゆかりの庭園をたずねて―（あみださんぞんぞう・こぼりえんしゅうていえん） 重文など

11/20(土)～11/22(月)

奈良時代造立の本尊阿弥陀三尊像や、小堀遠州造営の客殿（いずれも重文）、南都には珍しい徳川家ゆかりの霊廟建築などを特別公開。本堂や客殿からは、紅葉に彩られた境内を一望できます。

所 奈良市法蓮町881
☎ 0742-22-2890
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行きバスまたは大和西大寺駅から近鉄・JR奈良駅（西口）行きバスで「佐保小学校」下車、徒歩約3分●近鉄奈良駅から徒歩約20分

本堂
写真：興福院

法華寺（ほっけじ）

椿 12月～3月　梅 2月中旬～3月

MAP A b-1

❶十一面観音菩薩立像（じゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう） 国宝など

10/25(月)～11/15(月)、2022.3/20(日)～4/7(木)

❷絹本着色阿弥陀三尊および童子像（慈光殿）（けんぽんちゃくしょくあみださんぞんおよびどうじぞう） 国宝など

10/25(月)～11/15(月) 入場制限有

聖武天皇の后・光明皇后の発願で創建。特別開扉の本尊・十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルとも。秋季は平安時代作の浄土芸術の傑作も同時公開されます。

所 奈良市法華寺町882 ☎ 0742-33-2261
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP https://hokkejimonzeki.or.jp/

❷阿弥陀三尊及び童子像のうちの阿弥陀如来像〈国宝〉
写真：(株)飛鳥園

海龍王寺（かいりゅうおうじ）

雪柳 3月中旬～4月中旬

MAP A b-1

十一面観音菩薩立像、寺宝展（じゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう、じほうてん） 重文など

10/25(月)～11/15(月)、2022.3/23(水)～4/7(木)（予定）

寺号は遣唐留学僧・玄昉が嵐の中『海龍王経』を唱え無事に帰国した故事が由来。遣唐使以来、現在も旅行や留学の安全が祈願されています。光明皇后が刻んだ像をもとにした本尊・十一面観音菩薩立像などを拝観できます。

所 奈良市法華寺町897 ☎ 0742-33-5765
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩すぐ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP http://kairyuouji.jp/

十一面観音菩薩立像（重文）
写真：(株)飛鳥園

【興善寺 A c-2】①観経曼陀羅拝観：9/20(月)・(祝)～9/26(日) ※要予約、2022.3/18(金)～3/24(木) ※要予約　②涅槃図拝観：2022.2/1(火)～2/15(火) ※要予約
【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩：2022.2/10(木) ※初午、3/6(日)※二の午
【伝香寺 A c-2】本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地蔵菩薩立像納入品、筒井家関連書状：2022.3/12(土)

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。

薬師寺

MAP A a-2

萩 9月中旬～10月中旬

❶細川護熙筆慈恩殿障壁画「東と西の融合」特別公開

9/17(金)～9/26(日)

❷国宝東塔初層特別開扉、西塔初層内陣 釈迦四相像特別公開、玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画殿特別公開

～2022.1/16(日) 国宝 重文など

❸食堂特別公開、東塔水煙公開（西僧坊）

～2022.1/16(日)

❹吉祥天女画像特別公開(国宝・平成本吉祥天) 国宝

2022.1/1(土)・(祝)～1/3(月)［国宝］、1/4(火)～1/15(土)［平成本吉祥天］

令和３年春に奈良時代建立の東塔が解体修理を終えた薬師寺。阿弥陀三尊浄土図を中心とする食堂壁画、平山郁夫画伯の「大唐西域壁画」、東塔水煙を展示する西僧坊が同期間に公開。また、吉祥天女画像は奈良時代作の国宝と、平成本吉祥天が順次公開されます。

❸ 食堂ご本尊・阿弥陀三尊浄土図 写真：薬師寺

❹ 吉祥天女画像〈国宝〉 写真：薬師寺

所 奈良市西ノ京町457 ☎ 0742-33-6001
行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ ●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ
HP https://www.yakushiji.or.jp/

喜光寺

MAP A a-2

弁天堂神影　宇賀神（秘仏）

2022.1/1(土)・(祝)～1/15(土)

行基菩薩が創建し、東大寺大仏殿のモデルとして建てられた本堂は「試みの大仏殿」と呼ばれます。宇賀神像は人頭蛇身という神秘的なお姿。幸福を願って祈願する人に多くの霊験を賜るとされます。

宇賀神像　写真：喜光寺

所 奈良市菅原町508 ☎ 0742-45-4630
行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分 ●近鉄大和西大寺駅から徒歩約20分 ●JR・近鉄奈良駅から学園前駅（南）行きバス「阪奈菅原」下車すぐ
HP http://www.kikouji.com/

西大寺

MAP A a-1

萩 9月下旬～10月上旬

愛染明王坐像(愛染堂)、聚宝館特別公開 国宝 重文など

10/25(月)～11/15(月)、2022.1/15(土)～2/4(金)

称徳天皇の勅願によって創建された南都七大寺の一つ。鎌倉時代に叡尊上人によって再興されました。
愛染堂の秘仏本尊・愛染明王坐像の特別御開扉、多数の寺宝を納める聚宝館が開館されます。

愛染明王坐像（重文）　写真：㈱飛鳥園

所 奈良市西大寺芝町1-1-5
☎ 0742-45-4700
行 近鉄大和西大寺駅から徒歩約3分
HP http://saidaiji.or.jp/

弘仁寺

MAP A d-1

❶秘仏本尊・虚空蔵菩薩像

11/1(月)～11/30(火)（拝観は午後１時より）

❷唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財）

11/1(月)～11/30(火)（拝観は午後１時より）

本尊は無限の智恵と慈悲を持つ虚空蔵菩薩。13歳の子に知恵を授けてもらう十三詣りが有名。奈良市指定文化財の香炉、数学の問題や解法を記した算額も必見。

❷唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財） 写真：奈良市教育委員会

所 奈良市虚空蔵町46 ☎ 0742-62-9303
行 ●JR・近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車乗換、米谷町行きコミュニティバス「高樋町」下車、徒歩約5分 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約30分
HP http://www.kouninji.org/

正暦寺

MAP A d-1

紅葉 11月中旬～12月上旬

秘仏・薬師如来倚像 重文など

11/3(水)・(祝)～12/5(日) ※本堂にて、12/22(水) ※瑠璃殿（収蔵庫にて）

992（正暦３）年、透き通る清流と秋の紅葉に彩られる“錦の里”に創建。特別公開される白鳳秘仏の本尊・薬師如来倚像は台座に腰を掛け、足を踏割蓮華に乗せている、珍しいお姿をしています。

薬師如来倚像（重文）　写真：正暦寺

所 奈良市菩提山町157 ☎ 0742-62-9569
行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分 ●11月中旬～12月初旬はJR・近鉄奈良駅から臨時バス運行予定（詳細は奈良交通へお問合せください） ●JR・近鉄天理駅からタクシー約20分
HP http://shoryakuji.jp/

岩船寺

MAP B a-2

紅葉 11月中旬～12月上旬

❶秘宝秘仏特別公開

10/1(金)～11/30(火)

❷三重塔初層特別開扉 重文

10月・11月の毎週土日祝

❸秘仏特別公開

2022.1/1(土)・(祝)～1/15(土)

※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり

秋の特別公開では、秘仏・如意輪観音、弁財天、羅刹天、秘宝・両界曼荼羅、岩船寺縁起などに加え、三重塔初層の色鮮やかな壁画も公開。秘仏は１月にも特別公開されます。

三重塔（重文）　写真：㈱飛鳥園

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43
☎ 0774-76-3390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ
HP https://gansenji.or.jp/

浄瑠璃寺

MAP B a-2

紅葉 11月上旬～11月下旬

❶秘仏・吉祥天女立像 重文

10/1(金)～11/30(火)、2022.1/1(土)・(祝)～1/15(土)

❷三重塔初層開扉・薬師如来坐像 国宝 重文

毎月8日、10/30(土)～11/7(日)、2022.1/1(土)・(祝)～1/3(月)、1/8(土)～1/10(月)・(祝) ※ただし好天の日に限る

❸大日如来坐像など（潅頂堂）

2022.1/8(土)～1/10(月)・(祝)

平安時代の浄土式庭園と９体の阿弥陀如来坐像を安置する国宝・本堂を持つ名刹。厨子入りの吉祥天女立像や国宝・三重塔の薬師如来坐像などが開扉されます。

❶吉祥天女立像（重文）　写真：㈱飛鳥園

所 京都府木津川市加茂町西小札場40
☎ 0774-76-2390
行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺」下車、徒歩約3分

【唐招提寺 A a-2】金亀舎利塔〈国宝〉、釈迦如来立像（重文）など《礼堂》：10/21(木)～10/23(土)

MAP B a-1

現光寺（げんこうじ）

紅葉 11月中旬～11月下旬

本尊・十一面観音坐像（ほんぞん じゅういちめんかんのんざぞう） 重文

11/3(水・祝)、6(土)、7(日)

現光寺の収蔵庫に安置される本尊・木造十一面観音坐像（重文）は、慶派の仏師作と推定される全国にも数体という珍しい坐像のお姿です。

所 京都府木津川市加茂町北山ノ上9
☎ 0774-76-2256（海住山寺）
行 JR加茂駅東口から徒歩約10分、お寺付近は道幅狭小・境内に駐車場はありません

十一面観音坐像（重文）
写真：㈱飛鳥園

MAP B a-1

海住山寺（かいじゅうせんじ）

紅葉 11月中旬～11月下旬

❶五重塔特別開扉（ごじゅうのとうとくべつかいひ） 国宝など

10/30(土)～11/7(日)
※荒天時は塔開扉中止の場合あり

❷寺宝特別公開（じほうとくべつこうかい） 重文など

10/30(土)～11/28(日)

735年創建と伝わり、鎌倉時代に解脱上人貞慶により中興された名刹。国宝・五重塔の内陣は華麗に彩色された厨子風造りで、扉絵は必見。奥の院十一面観音菩薩立像や四天王立像なども公開されます。

所 京都府木津川市加茂町例幣海住山20
☎ 0774-76-2256
行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺口」下車、徒歩約20分（※バスは平日のみ運行）●JR加茂駅西口から和束町小杉行きバス「岡崎（加茂）」下車、徒歩約30分●JR加茂駅からタクシー約10分
HP http://www.kaijyusenji.jp/

❶五重塔 内部〈国宝〉
写真：㈱飛鳥園

MAP C c-1

松尾寺（まつおでら）

❶千手観音像トルソー（秘仏・奈良時代）、舎人親王像（本堂）

～12/25(土)

❷秘仏本尊・厄除観音（厄除千手千眼観世音菩薩立像）

11/3(水・祝)

日本書紀を編纂した舎人親王が開基したと伝わる日本最古の厄除霊場。日本唯一の舎人親王像など寺宝を公開。秘仏本尊は年に一日だけの公開となります。

所 大和郡山市山田町683 ☎ 0743-53-5023
行 ●JR大和小泉駅（東口）から近鉄郡山駅行きバス、または近鉄郡山駅から大和小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約30分●JR大和小泉駅から徒歩約45分
HP https://matsuodera.com/

❶舎人親王像　写真：松尾寺

MAP C c-1

法隆寺（ほうりゅうじ）

❶夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 国宝

10/22(金)～11/22(月)

❷上御堂（釈迦三尊像） 国宝など

11/1(月)～11/3(水・祝)

現存する世界最古の木造建築物群を有する寺院。2021年に1400年遠忌を迎えた聖徳太子が建立。夢殿では救世観音菩薩立像も開扉。上御堂の釈迦三尊像なども拝観できます。

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1 ☎ 0745-75-2555
行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩すぐ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
HP http://www.horyuji.or.jp/

❶夢殿本尊・観音菩薩立像［救世観音］〈国宝〉
写真：㈱飛鳥園

MAP C b-2

朝護孫子寺（ちょうごそんしじ）

紅葉 11月上旬～12月上旬

❶信貴山縁起絵巻特別公開「延喜加持の巻」 国宝

10/30(土)～11/14(日)

❷毘沙門天王秘仏御開扉

2022.1/1(土・祝)～1/16(日)、2/23(水・祝)～2/28(月)
※開扉時間は9時～16時になります
※御祈祷中はお待ちいただくことになります

国宝の信貴山縁起絵巻は全3巻のうち「延喜加持の巻」が霊宝館で、また、毘沙門天王は普段見られる「お前立ち」の後ろに秘された「奥秘仏」が公開されます。

所 生駒郡平群町信貴山2280-1
☎ 0745-72-2277（本坊）
行 JR・近鉄王寺駅または近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
HP http://www.sigisan.or.jp/

❶信貴山縁起絵巻（延喜加持の巻、部分）〈国宝〉 写真：朝護孫子寺

MAP C d-2

安養寺（あんようじ）

阿弥陀如来立像（あみだにょらいりゅうぞう） 重文

9/18(土)～9/26(日)、2022.3/18(金)～3/27(日)

江戸時代初期に創建。特別公開される阿弥陀如来立像（重文）は鎌倉時代の仏師・快慶の作品といわれます。ふくよかな容貌や流麗な衣文線（えもんせん）など快慶仏ならではの特色と技法をじっくり拝観できます。

所 磯城郡田原本町八尾40
行 近鉄田原本駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
HP http://anyouji.jp/
詳細、お問い合わせは安養寺HPをご確認ください

阿弥陀如来立像（重文）
写真：田原本町教育委員会

MAP D b-2

談山神社（たんざんじんじゃ）

紅葉 11月中旬～12月上旬

秋の社宝特別展 多武峰曼荼羅と神仏習合のせかい

10/30(土)～12/5(日)、ライトアップ：11/19(金)～11/28(日)

日本唯一の木造十三重塔が建つ神社。大化の改新の立役者・藤原鎌足を祀ります。社宝特別展は紅葉シーズンに重なり、十三重塔などに映える絶景を楽しめます。

所 桜井市多武峰319 ☎ 0744-49-0001
行 JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス終点下車、徒歩約3分
HP http://www.tanzan.or.jp/

十三重塔（重文）　写真：談山神社

MAP D b-1

聖林寺（しょうりんじ）

南天 11月～2月

❶秘宝・マンダラ展

11/1(月)～11/30(火)

❷秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天

2022.1/1(土・祝)～1/3(月)

両界曼荼羅や観音浄土補陀落山図など、秘宝のマンダラ（仏画）が約15点公開。正月三が日は秘仏も開扉されます。

所 桜井市下692 ☎ 0744-43-0005
行 ●JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス「聖林寺」下車、徒歩約3分
●JR・近鉄桜井駅からタクシー約10分
HP http://www.shorinji-temple.jp/

❶浄土曼荼羅　写真：聖林寺

【吉田寺 C c-2】多宝塔（重文）初層・大日如来坐像：11/1(月)～11/3(水・祝)　【法輪寺 C c-1】秋季特別展 聖徳太子絵伝と寺宝展：11/1(月)～11/7(日)
【慈光院 C c-1】本堂天井鳴き龍：2022.1/1(土・祝)～1/3(月)

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。

岡寺（おかでら）

MAP D b-2

紅葉 11月中旬～12月中旬

❶本堂内々陣お扉特別開扉（本堂内々陣お扉特別開扉） 重文

10/9(土)～12/5(日)

❷三重宝塔初層壁画扉絵特別公開（三重宝塔初層壁画扉絵特別公開）

10/17(日)

西国第７番札所の厄除け霊場。高さ4.85mの本尊・如意輪観音坐像は日本最大の塑像。迫力ある全身を拝観できます。三重宝塔は開山忌のみの公開です。

所 高市郡明日香村岡806 ☎ 0744-54-2007
行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡寺前」下車、徒歩約10分
HP http://www.okadera3307.com/

❶塑造 如意輪観音坐像（重文）
写真：岡寺

おふさ観音（かんのん）

MAP D a-1

バラ 10月中旬～11月下旬

秘宝・生き人形（ひほう・いきにんぎょう）

10/19(火)～11/30(火)

秋のバラまつりと同期間、本堂内で天才人形師・安本亀八作の生き人形が公開されます。「生き人形」とは精緻な技巧で徹底的に本物に似せた人形のこと。“肌”に浮き出た“静脈”も見て取れます。

所 橿原市小房町6-22 ☎ 0744-22-2212
行 ●近鉄大和八木駅から下市口駅行き、近鉄御所駅行きバス「小房（おふさ）」下車、徒歩約5分 ●近鉄大和八木駅から徒歩約25分またはタクシーで約10分 ●JR畝傍駅から徒歩約10分
HP http://www.ofusa.jp/

バラまつり 写真：おふさ観音

安倍文殊院（あべもんじゅいん）

MAP E a-2

コスモス迷路 9月中旬～10月下旬

金閣浮御堂霊宝館 寺宝展（きんかくうきみどうれいほうかん じほうてん） 国宝など

秋：9/1(水)～11/30(火)、冬：12/1(水)～2022.2/28(月)

本尊は快慶作の獅子に乗った文殊菩薩。安倍仲麻呂・安倍晴明の御尊像など陰陽道に関する宝物や秘仏を納める金閣浮御堂で、魔除け・災難除けの「七まいり」の後、内陣にあたる霊宝館を拝観できます。

所 桜井市阿部645
☎ 0744-43-0002
行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すぐ ●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
HP https://www.abemonjuin.or.jp/

本堂 写真：安倍文殊院

壺阪寺（つぼさかでら）（南法華寺（みなみほっけじ））

MAP D a-2

紅葉 11月中旬～12月上旬（ライトアップあり）

❶観音大めがねくぐり（かんのんおおめがねくぐり）

10/9(土)～12/18(土)

❷壺阪観音お身拭い特別結縁参拝（つぼさかかんのんおみぬぐいとくべつけちえんさんぱい）

10/9(土)～12/5(日)

❸二大塔初層同時開扉（にだいとうしょそうどうじかいひ）

10/9(土)～12/5(日)

❹納め観音 秘仏・子島荒神像（おさめかんのん ひぶつ こじまこうじんぞう）

12/18(土)

眼病封じの古刹。大観音石像サイズの大めがねくぐり、浄布で本尊・十一面千手観音菩薩像に触れるお身拭い参拝、一年で３時間のみの荒神像公開が行われます。

所 高市郡高取町壺阪3 ☎ 0744-52-2016
行 近鉄壺阪山駅から壺阪寺前行きバス終点下車、徒歩すぐ
HP http://www.tsubosaka1300.or.jp/

本尊・十一面千手観音菩薩坐像
（撮影：藤井金治）

霊山寺（りょうせんじ）

MAP F b-2

バラ 10月～11月

❶薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展（やくしさんぞんぞう、あきばらとひぶつほうもつてん） 重文

10/23(土)～11/14(日)、2022.1/1(土)・(祝)～1/3(月) ※正月は薬師三尊像のみ

❷三重塔初層特別開扉（さんじゅうのとうしょそうとくべつかいひ） 重文

11/3(水)・(祝)

聖武天皇の勅願で行基が建立した古刹。1200坪あるバラ園の秋咲きにあわせて薬師三尊像や秘仏を公開。一日だけ公開の三重塔初層・極彩色壁画も見逃せません。

所 奈良市中町3879 ☎ 0742-45-0081
行 ●近鉄富雄駅から若草台行きバス「霊山寺」下車、徒歩約1分 ●近鉄富雄駅から徒歩約30分またはタクシー約8分
HP http://www.ryosenji.jp/

❶十一面観音菩薩立像（重文）
写真：(株)飛鳥園

長岳寺（ちょうがくじ）

MAP E a-1

紅葉 11月～12月　椿 1月～3月

大地獄絵開帳（だいじごくえかいちょう）

10/23(土)～11/30(火)

境内が紅葉に染まる時期、三悪道や修羅道の世界を描いた大地獄絵（狩野山楽筆）を公開。土日祝（13時頃）は住職による絵解きも開催。全９幅・総幅11mの迫力に触れると、日々の心と行いを省みたくなります。

所 天理市柳本町508
☎ 0743-66-1051
行 ●JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「上長岡（かみなんか）」下車、徒歩約10分 ●JR柳本駅から徒歩約20分
HP https://www.chogakuji.or.jp/

大地獄絵・大焦熱地獄［部分］
写真：長岳寺

當麻寺 西南院（たいまでら さいないん）

MAP G a-1

紅葉 11月下旬～12月上旬

西南院本堂特別開帳（さいないんほんどうとくべつかいちょう） 重文など

11/23(火)・(祝)～11/30(火)

国宝・西塔を借景とする庭園が見事で、水琴窟（すいきんくつ）や美しい紅葉でも知られます。その本堂で万病消滅・富貴自在の仏様である本尊・十一面観音菩薩、聖観音菩薩、千手観音菩薩などが特別公開されます。

所 葛城市當麻1263
☎ 0745-48-2202
行 近鉄当麻寺駅から徒歩約15分
HP http://taimadera-sainain.or.jp/

三観音（重文） 写真：當麻寺 西南院

寶山寺（ほうざんじ）

MAP F a-2

獅子閣（ししかく） 重文

10/9(土)～10/11(月)、11/21(日)～11/23(火)・(祝)

本堂本尊・不動明王像に加え、聖天堂に大聖歓喜天が祀られ、「生駒の聖天さん」として、信仰を集めています。獅子閣は明治17年落慶の洋風客殿。木製螺旋階段や色ガラス入りの扉・窓、２階ベランダ、細部に凝った造作は必見です。

所 生駒市門前町1-1 ☎ 0743-73-2006
行 近鉄生駒駅からケーブル「宝山寺」下車、徒歩約10分
HP http://www.hozanji.com/

獅子閣内部（重文）
写真：飛鳥園

D 多武峯・橿原・明日香 地図参照P・19
E 山の辺の道・桜井 地図参照P・19
F 富雄・生駒 地図参照P・20
G 葛城 地図参照P・20

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。（掲載内容は2021年8月現在のものです）

G 葛城 地図参照P・20

H 吉野・五條 地図参照P・20

I 長谷・室生 地図参照P・21

當麻寺 奥院

MAP G a-1

紅葉 11月下旬～12月上旬　寒牡丹 12月中旬～1月

❶綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開

11/1(月)～11/10(水)

❷大方丈襖絵特別公開

11/13(土)～11/28(日)

❸本尊・法然上人坐像

2022.2/24(木) 重文など

浄土庭園が広がる奥院。中将姫が織ったとされる當麻曼陀羅を同じ手法で復元した當麻曼陀羅平成本や、上村淳之画伯の襖絵「花鳥浄土」などが特別公開されます。

所 葛城市當麻1263　☎ 0745-48-2008
行 近鉄当麻寺駅徒歩約15分
HP http://www.taimadera.or.jp/

❶平成本・當麻曼陀羅（部分）
写真：當麻寺 奥院

當麻寺 中之坊

MAP G a-1

紅葉 11月下旬～12月上旬

❶聖徳太子1400年ご遠忌特別展

～10/11(月)

❷新造顕・弥勒菩薩像と弥勒菩薩画像(室町時代)

10/17(日)～11/30(火)

❸布袋尊百童子屏風

2022.1/1(土)・(祝)～2/3(木)

室町時代の掛軸「弥勒菩薩像」をもとに平成30年より造像がはじまった木造・弥勒菩薩像が原画の掛軸とともに特別公開。導き観音（平安時代・重要美術品）は、毎月16日の祈願会で堂内拝観できます。

所 葛城市當麻1263　☎ 0745-48-2001
行 近鉄当麻寺駅から徒歩約15分
HP http://www.taimadera.org/

❷新造顕弥勒菩薩像

金峯山寺

MAP H c-2

日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳 重文

10/22(金)～11/30(火)

世界遺産登録の本堂・蔵王堂（国宝）に安置されている日本最大秘仏・金剛蔵王大権現三尊が国宝仁王門修理勧進のため特別にご開帳されます。修験道の開祖・役行者が感得したと伝わる権現仏で、像高約７m。三尊とも青く採色された有難いお姿です。

所 吉野郡吉野町吉野山2498
☎ 0746-32-8371
行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分
HP https://www.kinpusen.or.jp/

秘仏金剛蔵王権現像［中尊］（重文）
写真：金峯山寺

石光寺

MAP G a-1

寒牡丹 12月上旬～1月中旬

弥勒如来秘仏（木造）、日本最古の石仏開帳

2022.1/1(土)・(祝)～1/31(月) ※1日は正午から

當麻曼陀羅を織った中将姫ゆかりの「染の井」「糸掛桜」が現存する寺院。牡丹や寒牡丹、シャクヤクなどの花が四季を彩る境内で弥勒堂が開扉され、白鳳弥勒石仏と秘仏弥勒如来が開帳されます。

所 葛城市染野387
☎ 0745-48-2031
行 ●近鉄二上神社口（にじょうじんじゃぐち）駅から徒歩約13分
●近鉄当麻寺駅から徒歩約20分
HP https://sekkouji.or.jp/

弥勒如来石仏　写真：石光寺

櫻本坊

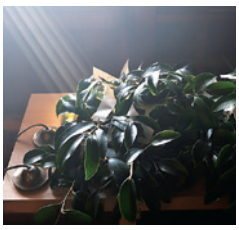
MAP H c-2

天武天皇御神像 特別ご開帳

11/13(土)～11/21(日)

万葉の時代、天武天皇が建立。天武天皇・持統天皇の勅願寺。修験道根本道場。神仏習合の象徴ともいえる天武天皇の御神像が特別ご開帳。宝聚堂（宝物殿）も開扉され、地蔵大菩薩坐像（重文）、蔵王権現鏡像（平安時代）などの寺宝が拝観できます。

所 吉野郡吉野町吉野山1269
☎ 0746-32-5011
行 近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP https://sakuramotobou.or.jp/



榊　写真：櫻本坊

如意輪寺

MAP H c-2

紅葉 10月下旬～11月下旬

後醍醐天皇御霊殿

11/2(火)～11/18(木)

吉野に行宮を構えた（南朝）後醍醐天皇の勅願寺。御霊殿には後醍醐天皇御自作の木像、南朝歴代天皇の御尊牌（御位牌）が奉祀されています。後醍醐天皇ご生誕（11/2）にあわせて「菊まつり」も開催。

所 吉野郡吉野町吉野山1024
☎ 0746-32-3008
行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「如意輪寺口」下車、徒歩約20分（※バス本数少ない）●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分
HP https://nyoirinji.com/

後醍醐天皇御自作の木像
写真：如意輪寺

長谷寺

MAP I a-1

紅葉 10月下旬～12月中旬　寒牡丹 12月上旬～2月中旬

❶本尊大観音（十一面観世音菩薩立像）特別拝観 重文

❷本坊大講堂特別拝観 重文

❶❷10/9(土)～12/5(日)

日本最大級の木造仏、本尊・十一面観世音菩薩立像。普段は尊顔のみの拝観ですが、特別拝観では、お御足に触れてご縁を結んでいただけます。

所 桜井市初瀬731-1
☎ 0744-47-7001
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分
HP https://www.hasedera.or.jp/

❶本尊・十一面観世音菩薩立像（重文）
写真：長谷寺

榮山寺

MAP H a-2

萩 9月～10月上旬　紅葉 11月中旬～12月上旬

❶本尊・薬師如来坐像 重文

❷八角円堂内内陣装飾画特別拝観 国宝など

❶❷10/25(月)～11/28(日)

藤原不比等の長男・武智麻呂が創建。内陣に天平時代の極彩色壁画が残る国宝・八角円堂は、法隆寺夢殿と並ぶ貴重な天平建築として優美な姿を見せてくれます。

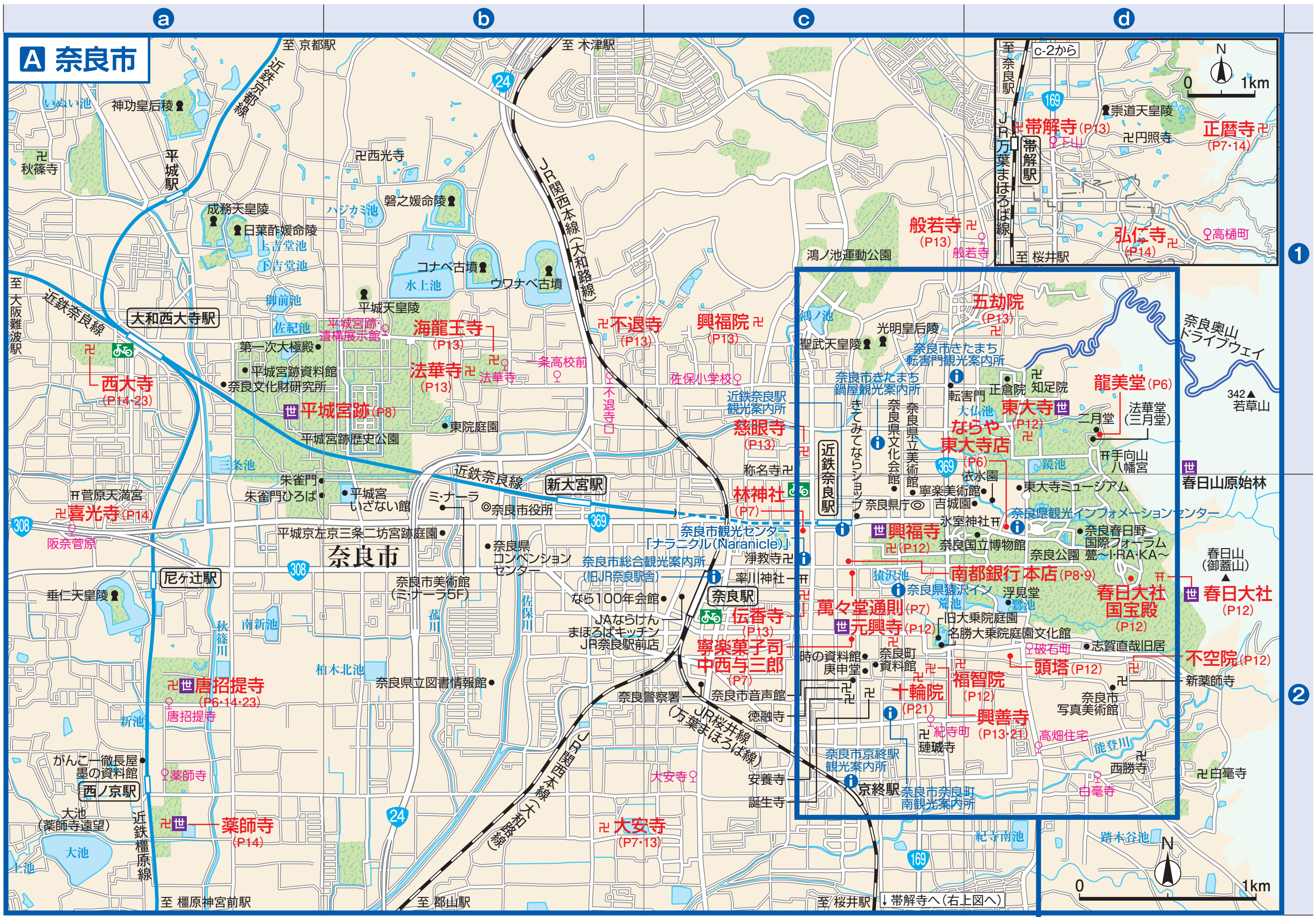
所 五條市小島町503　☎ 0747-24-5557
行 ●JR五条駅から八木駅（南）行きバス「栄山寺口」下車、徒歩約10分（※バス本数少ない）●JR五条駅から徒歩約25分またはタクシー約5分
HP https://www.eisanji.com/

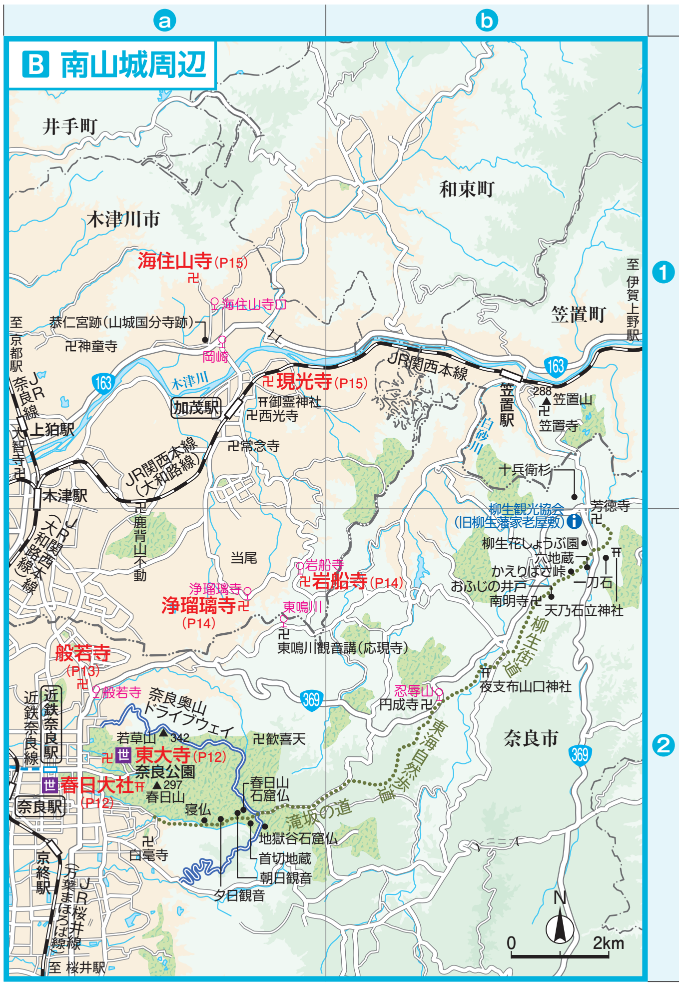
❶本尊・薬師如来坐像（重文）
写真：榮山寺

【金剛寺 H a-2】星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊：2022.2/3(木)　【法起院 I a-1】長谷庚申　秘仏青面金剛像：11/6(土)～11/14(日)

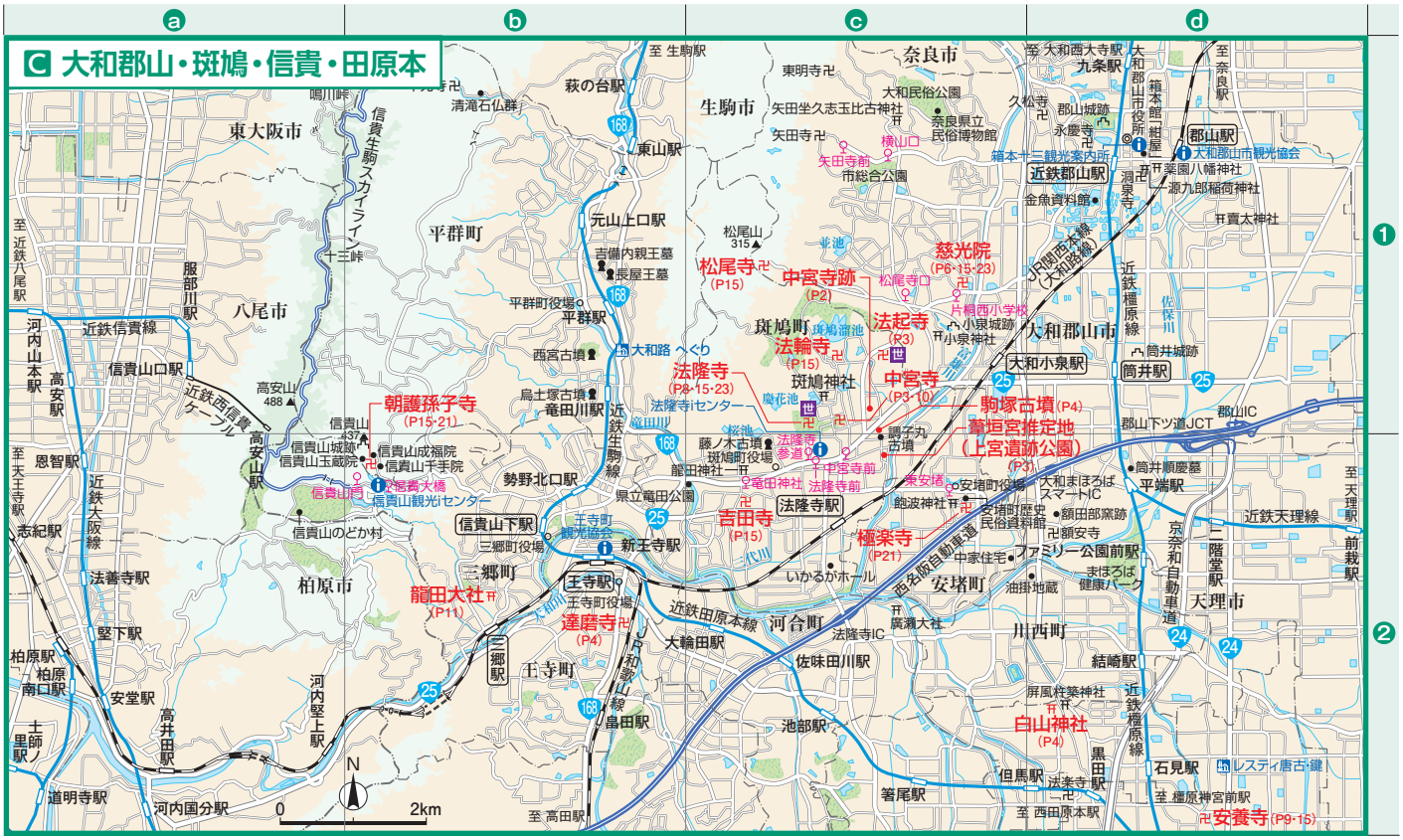
吉野山ロープウェイは、金・土・日・月曜日のみ運行〔10/29(金)～11/30(火)は毎日運行〕。火・水・木曜日は、ケーブル代行バスが運行。運行情報や時刻表は下記にお問い合わせ下さい。
問 吉野大峯ケーブル自動車㈱　☎ 0746-39-0010

新型コロナウイルスの影響により、行事の中止や、日時の変更、予約・入場制限等の開催概要が変更になる場合があります。


A 奈良市
至 京都駅
至 木津駅
神功皇后陵
秋篠寺
平城駅
西光寺
成務天皇陵
日葉酢媛命陵
ハジカミ池
磐之媛命陵
上吉堂池
下吉堂池
コナベ古墳
ウワナベ古墳
水上池
御前池
平城天皇陵
至 大阪難波駅
近鉄奈良線
大和西大寺駅
平城宮跡遺構展示館
海龍王寺 (P13)
第一次大極殿
不退寺 (P13)
興福院 (P13)
西大寺 (P14・23)
平城宮跡資料館
奈良文化財研究所
法華寺 (P13)
一条高校前
佐保小学校
平城宮跡 (P8)
東院庭園
平城宮跡歴史公園
三条池
朱雀門
朱雀門ひろば
平城宮いざない館
新大宮駅
菅原天満宮
喜光寺 (P14)
阪奈菅原
奈良市役所
平城京左京三条二坊宮跡庭園
奈良市
奈良県コンベンションセンター
奈良市美術館 (ミ・ナーラ5F)
尼ヶ辻駅
垂仁天皇陵
南新池
なら100年会館
JAならけん まほろばキッチン
JR奈良駅前店
奈良県立図書情報館
唐招提寺 (P6・14・23)
唐招提寺
新池
がんこ一徹長屋 墨の資料館
薬師寺
西ノ京駅
大池 (薬師寺遠望)
薬師寺 (P14)
近鉄橿原線
JR関西本線 (大和路線)
大安寺
大安寺 (P7・13)
至 橿原神宮前駅
至 郡山駅
至 桜井駅
帯解寺へ (右上図へ)
紀寺南池
鹿野園
鴻ノ池運動公園
般若寺 (P13)
五劫院 (P13)
光明皇后陵
聖武天皇陵
奈良市きたまち転害門観光案内所
転害門
正倉院
知足院
大仏池
東大寺
龍美堂 (P6)
ならや 東大寺店 (P6)
二月堂
法華堂 (三月堂)
若草山
手向山八幡宮
春日山原始林
近鉄奈良駅
慈眼寺 (P13)
林神社 (P7)
依水園
吉城園
寧楽美術館
東大寺ミュージアム
奈良県観光インフォメーションセンター
奈良国立博物館
奈良公園
奈良春日野国際フォーラム 甍〜I・RA・KA〜
奈良市観光センター 「ナラニクル (Naranicle)」
興福寺 (P12)
南都銀行本店 (P8・9)
春日大社国宝殿 (P12)
春日大社 (P12)
春日山 (御蓋山)
奈良市総合観光案内所
率川神社
奈良駅
萬々堂通則 (P7)
元興寺 (P12)
猿沢池
浮見堂
旧大乗院庭園
名勝大乗院庭園文化館
伝香寺 (P13)
寧楽菓子司 中西与三郎 (P7)
頭塔 (P12)
志賀直哉旧居
不空院 (P12)
新薬師寺
十輪院 (P21)
福智院 (P12)
興善寺 (P13・21)
奈良市写真美術館
奈良市京終駅観光案内所
京終駅
奈良市奈良町南観光案内所
白毫寺
能登川
帯解寺 (P13)
正暦寺 (P7・14)
弘仁寺 (P14)
円照寺
崇道天皇陵
帯解駅
至 桜井駅
0 1km


B 南山城周辺
井手町
和束町
木津川市
海住山寺 (P15)
笠置町
至 伊賀上野駅
恭仁宮跡 (山城国分寺跡)
神童寺
現光寺 (P15)
JR関西本線
加茂駅
御霊神社
西光寺
笠置駅
笠置山
笠置寺
常念寺
上狛駅
木津駅
十兵衛杉
柳生観光協会 (旧柳生藩家老屋敷)
芳徳寺
柳生花しょうぶ園
六地蔵
かえりばさ峠
一刀石
おふじの井戸
南明寺
天乃石立神社
当尾
岩船寺 (P14)
浄瑠璃寺 (P14)
東鳴川観音講 (応現寺)
般若寺 (P13)
円成寺
夜支布山口神社
奈良奥山ドライブウェイ
奈良市
東大寺 (P12)
若草山
春日大社 (P12)
奈良公園
春日山
春日山石窟仏
地獄谷石窟仏
首切地蔵
朝日観音
夕日観音
白毫寺
奈良駅
京終駅
柳生街道
滝坂の道
東海自然歩道
至 桜井駅
0 2km

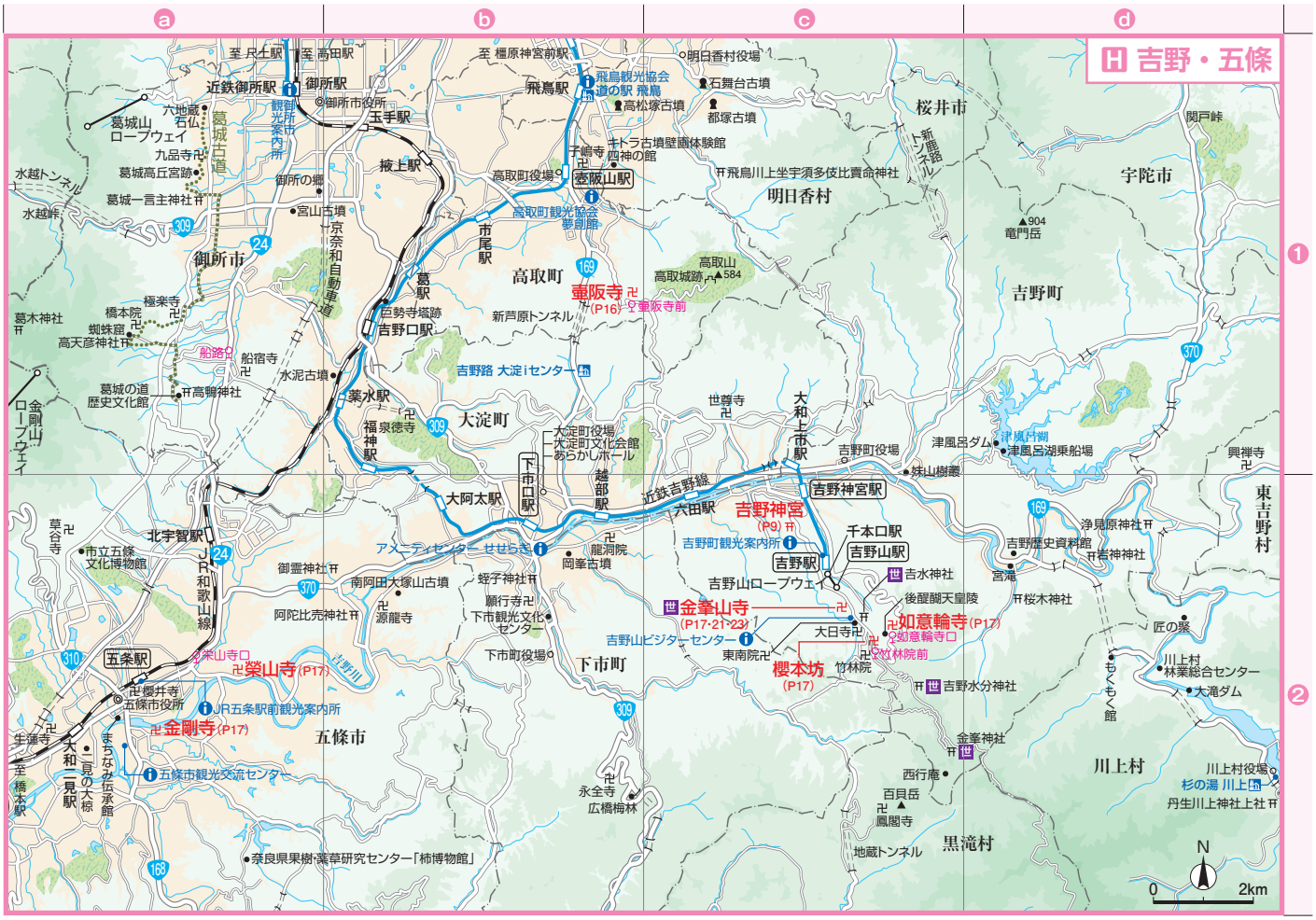
奈良公園周辺拡大図
鴻ノ池
五劫院 (P13)
奈良奥山ドライブウェイ
今在家
聖武天皇陵
光明皇后陵
奈良市きたまち転害門観光案内所
手貝町
知足院
転害門
正倉院
慈眼寺 (P13)
奈良市観光センター 「ナラニクル (Naranicle)」
奈良市きたまち鍋屋観光案内所
奈良県立美術館
大仏池
龍美堂 (P6)
二月堂
法華堂 (三月堂)
奈良女子大学
東大寺 (P12)
ならや 東大寺店 (P6)
手向山八幡宮
興福寺中金堂
鏡池
東塔跡
寧楽美術館
東大寺ミュージアム
南大門
吉城園
依水園
氷室神社
奈良公園
近鉄奈良駅
奈良県観光インフォメーションセンター
奈良県庁
奈良春日野国際フォーラム 甍〜I・RA・KA〜
南都銀行本店 (P8・9)
奈良国立博物館
興福寺国宝館
三条通
興福寺 (P12)
林神社 (P7)
興福寺南円堂
一之鳥居
春日大社国宝殿 (P12)
猿沢池
興福寺三重塔
奈良県猿沢イン
率川神社
伝香寺 (P13)
采女神社
萬々堂通則 (P7)
浮見堂
鷺池
鹿苑
二之鳥居
春日大社 (P12)
奈良ホテル
ならまち
瑜伽山園地
旧大乗院庭園
名勝大乗院庭園文化館
寧楽菓子司 中西与三郎 (P7)
元興寺 (P12)
頭塔 (P12)
志賀直哉旧居
時の資料館
奈良町資料館
福智院 (P12)
不空院 (P12)
十輪院 (P21)
興善寺 (P13・21)
奈良市
新薬師寺
奈良市写真美術館
ならまち格子の家
奈良教育大学
紀寺町
高畑住宅
西勝寺
瑜城寺
奈良市奈良町南観光案内所
奈良市京終駅観光案内所
京終駅
至 桜井駅
0 500m

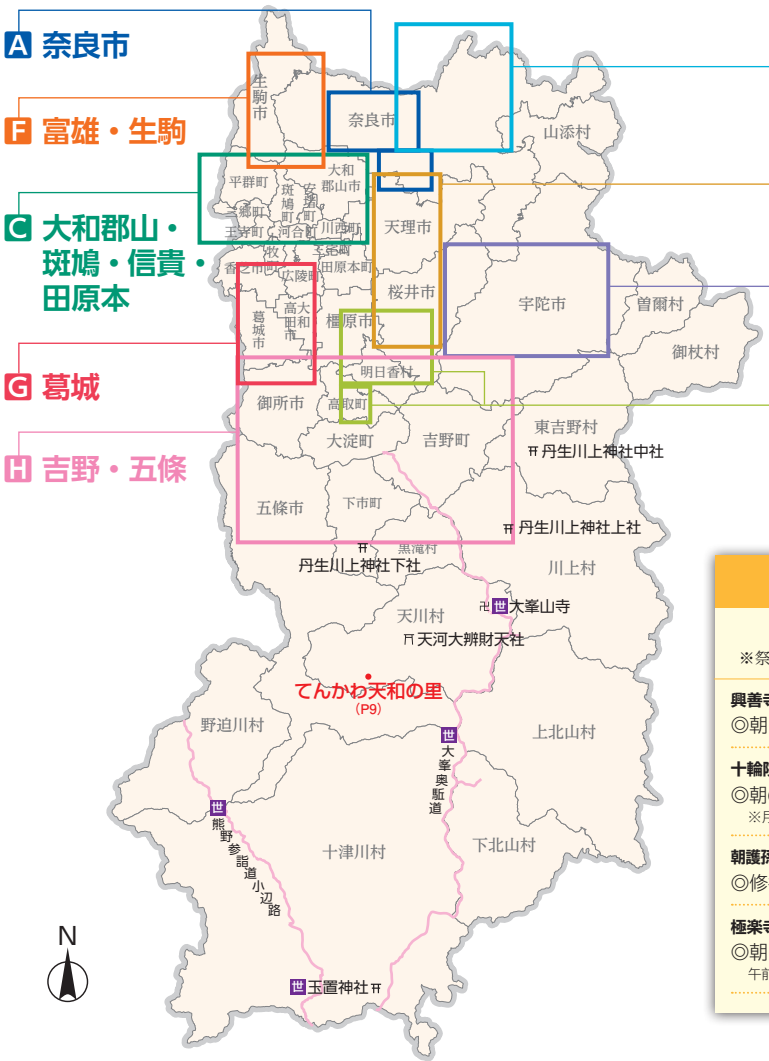


※宮跡推定地については諸説あります。

G 葛城
二上駅
香芝駅
香芝市
五位堂駅
広陵町
二上山駅
二上神社口駅
石光寺(P17)
ふたかみパーク當麻
近鉄下田駅
近鉄大阪線
築山駅
大和高田駅
JR和歌山線
中之坊(P17)
奥院(P17)
西南院(P16)
当麻寺駅
大和高田市
高田駅
磐城駅
近鉄南大阪線
高田市駅
尺土駅
近鉄御所線
南阪奈道路
浮孔駅
大和高田バイパス
葛城IC
道の駅かつらぎ
県社会教育センター
大和新庄駅
近鉄新庄駅
葛城市
JR和歌山線
葛城市歴史博物館
忍海駅
近鉄御所駅
御所市観光案内所
御所市役所
葛城高原
葛城山ロープウェイ
御所市
玉手駅
0 1km

F 富雄・生駒
生駒市
四條畷市
清滝街道
学研北生駒駅
白庭台駅
近鉄けいはんな線
登美ヶ丘駅
長弓寺 法華院
長弓寺
長弓寺 円生院
生駒市総合公園
清滝街道
奈良市
飛鳥CC
阪奈道路
生駒IC
富雄駅
学園前駅
近鉄奈良線
大和文華館
中野美術館
生駒駅
東生駒駅
富雄IC
宝山寺駅
寶山寺(P6・16)
梅屋敷駅
霞ヶ丘駅
生駒山上駅
菜畑駅
阪奈道路
奈良国際GC
一分駅
阪奈トンネル
壱分ランプ
小瀬ランプ
霊山寺(P16)
第二阪奈道路
暗越奈良街道
南生駒駅
中町ランプ
大和郡山市
萩の台駅
平群町
東山駅
0 1km


H 吉野・五條
近鉄御所駅
御所駅
御所市役所
玉手駅
葛城山ロープウェイ
葛城古道
掖上駅
飛鳥駅
飛鳥観光協会
道の駅 飛鳥
高松塚古墳
石舞台古墳
都塚古墳
桜井市
宇陀市
明日香村
壺阪山駅
高取町観光協会
夢創館
高取町
市尾駅
高取山
高取城跡
壺阪寺(P16)
壺阪寺前
吉野町
御所市
葛駅
吉野口駅
吉野路 大淀iセンター
葉水駅
大淀町
福神駅
大阿太駅
下市口駅
越部駅
大和上市駅
吉野神宮駅
吉野神宮(P9)
六田駅
千本口駅
吉野駅
吉野山駅
吉野山ロープウェイ
金峯山寺(P17・21・23)
如意輪寺(P17)
吉野山ビジターセンター
櫻本坊(P17)
竹林院
竹林院前
東南院
大日寺
下市町
五條市
榮山寺(P17)
五条駅
五條市役所
JR五条駅前観光案内所
金剛寺(P17)
五條市観光交流センター
大和二見駅
川上村
黒滝村
東吉野村
0 2km



◆ 朝のお参り・朝の勤行 ◆

一般参拝いただける朝のお参りと朝の勤行をご紹介します。
※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せ下さい。

興善寺 P13 MAP A c-2 ☎ 0742-23-7007
◎朝の勤行 ※要予約

十輪院 MAP A c-2 ☎ 0742-26-6635
◎朝の勤行 午前8時半～ 体験作務 午前8時～
※月曜休（祝日の場合は翌火曜）、予約不要

朝護孫子寺 P15 MAP C b-2 ☎ 0745-72-2277
◎修行代（しゅぎょうだい）（修法と勤行）

極楽寺 MAP C c-2 ☎ 0743-57-2231
◎朝のお勤め、朝茶の会（法話とお茶）
午前8時～9時 ※要予約

石上神宮 MAP E a-1 ☎ 0743-62-0900
◎朝拝（ちょうはい） 午前8時半頃～
※拝殿工事中につき、別の建物で行っております。

金峯山寺 P17・23 MAP H c-2 ☎ 0746-32-8371
◎蔵王堂 朝座勤行（あさざごんぎょう）
※御開帳期間のみ有料

長谷寺 P17 MAP I a-1 ☎ 0744-47-7001
◎朝の勤行 4月～9月 午前6時半～
10月～3月 午前7時～
※受付は30分前から、団体の場合は要予約

秘宝・秘仏特別開帳カレンダー（2021年9月～2022年3月）

エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	9月	10月	11月	12月	2022年1月	2月	3月
A 奈良市	春日大社	P12 A d-2	①秋季特別展 金工の美―王朝の優美な装飾から豪華な鎧の金具まで―〈国宝など〉 同時開催 最強の疫病終息の神―水谷社に祀る牛頭天王―				9/4～12/13 ※10/18前後期展示替のため休館			
			②春日若宮 御本殿・内院初公開（重文）		10/2～10/17					
	興福寺	P12 A c-2	特別公開2021 ―五重塔初層特別公開―〈国宝〉			前期10/9～11/23 後期			3/1～3/31	
	福智院	P12 A c-2	宝冠十一面観音菩薩立像	10/17～10/23		11/1～11/7			3/17～3/23	
	元興寺	P12 A c-2	秋季特別展『ならまちの地蔵霊場 十輪院の歴史と信仰』			10/23～11/14				
	不空院	P12 A d-2	本尊・不空羂索観音菩薩坐像など（重文など）	10/17		10/30～11/15				
	東大寺	P12 A d-1	①僧形八幡神坐像〈国宝〉《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像（重文）《勧進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像（重文）《公慶堂》		10/5 ※転害会 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。					
			②良弁僧正坐像〈国宝〉《開山堂》、執金剛神立像〈国宝〉《法華堂》、重源上人坐像〈国宝〉、阿弥陀如来立像（重文）、愛染明王坐像（重文）《俊乗堂》				12/16 ※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。			
	頭塔	P12 A d-2	史跡頭塔、頭塔石仏など（重文）			10/30～11/15				
	五劫院	P13 A d-1	涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像（重文）					2/12～2/18		
	般若寺	P13 A d-1	白鳳秘仏寺宝特別公開（重文など）			9/20～11/11				
	帯解寺	P13 A d-1	①秘仏・秘宝特別公開（重文など）			11/12～11/18				
			②令和4年春 秘仏公開（重文など）						3/1～3/8（予定）	
	大安寺	P13 A b-2	①本尊・十一面観音菩薩立像（重文）				10/1～11/30			
			②秘仏・馬頭観音菩薩立像（重文）						3/1～3/31	
	興福院	P13 A c-1	静寂に包まれた佐保路の尼寺 ―阿弥陀三尊像と小堀遠州ゆかりの庭園をたずねて―（重文など）				11/20～11/22			
	不退寺	P13 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝特別展				10/1～11/30	3/1～5/31		
	海龍王寺	P13 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展（重文など）			10/25～11/15			3/23～4/7（予定）	
	法華寺	P13 A b-1	①十一面観音菩薩立像〈国宝など〉			10/25～11/15			3/20～4/7	
			②絹本着色阿弥陀三尊および童子像（慈光殿）〈国宝など〉			10/25～11/15（入場制限あり）				
	興善寺	P13 A c-2	①観経曼陀羅拝観		9/20～9/26※要予約				3/18～3/24※要予約	
			②涅槃図拝観				2/1～2/15※要予約			
	慈眼寺	P13 A c-1	聖観世音菩薩					2/10 ※初午		3/6 ※ニの午
	伝香寺	P13 A c-2	本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地蔵菩薩立像納入品、筒井家関連書状							3/12
	喜光寺	P14 A a-2	弁天堂神影　宇賀神（秘仏）				1/1～1/15			
	西大寺	P14 A a-1	愛染明王坐像（愛染堂）、聚宝館特別公開〈国宝〉（重文など）			10/25～11/15			1/15～2/4	
	薬師寺	P14 A a-2	①細川護熙筆慈恩殿障壁画「東と西の融合」特別公開		9/17～9/26					
			②国宝東塔初層特別開扉、西塔初層内陣 釈迦四相像特別公開、玄奘三蔵院伽藍 大唐西域壁画殿特別公開〈国宝〉（重文など）	～2022.1/16						
			③食堂特別公開、東塔水煙公開（西僧坊）	～2022.1/16						
			④吉祥天女画像特別公開〈国宝・平成本吉祥天〉〈国宝〉	1/1～1/3［国宝］、1/4～1/15［平成本吉祥天］						
	正暦寺	P14 A d-1	秘仏・薬師如来倚像（重文など）	11/3～12/5 ※本堂にて				12/22 ※瑠璃殿（収蔵庫にて）		
	弘仁寺	P14 A d-1	①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像				11/1～11/30（拝観は午後1時より）			
			②唐草文三足双耳香炉（奈良市指定文化財）				11/1～11/30（拝観は午後1時より）			
	唐招提寺	P14 A a-2	金亀舎利塔〈国宝〉、釈迦如来立像（重文）など《礼堂》			10/21～10/23				
B 南山城周辺	浄瑠璃寺	P14 B a-2	①秘仏・吉祥天女立像（重文）		10/1～11/30			1/1～1/15		
			②三重塔初層開扉〈国宝〉・薬師如来坐像（重文）※ただし好天の日に限る	毎月8日		10/30～11/7		1/1～1/3、1/8～1/10		
			③大日如来坐像など《潅頂堂》					1/8～1/10		
	岩船寺	P14 B a-2	①秘宝秘仏特別公開				10/1～11/30			
			②三重塔初層特別開扉（重文）※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり				10月・11月の毎週土日祝			
			③秘仏特別公開					1/1～1/15		
	海住山寺	P15 B a-1	①五重塔特別開扉〈国宝など〉※荒天時は塔開扉中止の場合あり			10/30～11/7				
			②寺宝特別公開（重文など）				10/30～11/28			
	現光寺	P15 B a-1	本尊・十一面観音坐像（重文）		11/3	11/6・7				
C 大和郡山 斑鳩 信貴 田原本	法隆寺	P15 C c-1	①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像〈国宝〉				10/22～11/22			
			②上御堂（釈迦三尊像）〈国宝など〉			11/1～11/3				
	松尾寺	P15 C c-1	①千手観音像トルソー（秘仏・奈良時代）、舎人親王像（本堂）					～12/25		
			②秘仏本尊・厄除観音（厄除千手千眼観世音菩薩立像）			11/3				
	安養寺	P15 C d-2	阿弥陀如来立像（重文）		9/18～9/26				3/18～3/27	
	朝護孫子寺	P15 C b-2	①信貴山縁起絵巻特別公開「延喜加持の巻」〈国宝〉				10/30～11/14			
			②毘沙門天王秘仏御開扉				1/1～1/16	2/23～2/28		
	吉田寺	P15 C c-2	多宝塔（重文）初層・大日如来坐像			11/1～11/3				
	法輪寺	P15 C c-1	秋季特別展 聖徳太子絵伝と寺宝展			11/1～11/7				
	慈光院	P15 C c-1	本堂天井鳴き龍					1/1～1/3		
D 多武峯 橿原 明日香	聖林寺	P15 D b-1	①秘宝・マンダラ展				11/1～11/30			
			②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天					1/1～1/3		
	談山神社	P15 D b-2	秋の社宝特別展 多武峰曼荼羅と神仏習合のせかい				10/30～12/5（ライトアップ：11/19～11/28）			
	おふさ観音	P16 D a-1	秘宝・生き人形				10/19～11/30			
	岡寺	P16 D b-2	①本堂内々陣お扉特別開扉（重文）				10/9～12/5			
			②三重宝塔初層壁画扉絵特別公開			10/17				
	壺阪寺（南法華寺）	P16 D a-2	①観音大めがねくぐり				10/9～12/18			
			②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝				10/9～12/5			
			③二大塔初層同時開扉				10/9～12/5			
			④納め観音 秘仏・子島荒神像				12/18			
E 山の辺の道・桜井	安倍文殊院	P16 E a-2	金閣浮御堂霊宝館 寺宝展〈国宝など〉	秋：9/1～11/30、冬：12/1～2022.2/28						
	長岳寺	P16 E a-1	大地獄絵開帳				10/23～11/30			
F 富雄・生駒	霊山寺	P16 F b-2	①薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展（重文）	10/23～11/14				1/1～1/3 ※正月は薬師三尊像のみ		
			②三重塔初層特別開扉（重文）			11/3				
	寶山寺	P16 F a-2	獅子閣（重文）		10/9～10/11		11/21～11/23			
G 葛城	當麻寺 西南院	P16 G a-1	西南院本堂特別開帳（重文など）				11/23～11/30			
	當麻寺 中之坊	P17 G a-1	①聖徳太子1400年ご遠忌特別展	～10/11						
			②新造顕・弥勒菩薩像と弥勒菩薩画像（室町時代）				10/17～11/30			
			③布袋尊百童子屏風					1/1～2/3		
	當麻寺 奥院	P17 G a-1	①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開			11/1～11/10				
			②大方丈襖絵特別公開				11/13～11/28			
			③本尊・法然上人坐像（重文など）						2/24	
	石光寺	P17 G a-1	弥勒如来秘仏（木造）、日本最古の石仏開帳		1/1～1/31 ※1日は正午から					
H 吉野 五條	金峯山寺	P17 H c-2	日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳（重文）				10/22～11/30			
	如意輪寺	P17 H c-2	後醍醐天皇御霊殿			11/2～11/18				
	櫻本坊	P17 H c-2	天武天皇御神像 特別ご開帳			11/13～11/21				
	榮山寺	P17 H a-2	①本尊・薬師如来坐像（重文）				10/25～11/28			
			②八角円堂内内陣装飾画特別拝観〈国宝など〉				10/25～11/28			
	金剛寺	P17 H a-2	星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊						2/3	
I 長谷 室生	長谷寺	P17 I a-1	①本尊大観音（十一面観世音菩薩立像）特別拝観（重文）				10/9～12/5			
			②本坊大講堂特別拝観（重文）				10/9～12/5			
	法起院	P17 I a-1	長谷庚申　秘仏青面金剛像			11/6～11/14				

奈良うまし冬めぐり

冬だけのとっておきの奈良へ

2021年12月～2022年3月

唐招提寺（とうしょうだいじ）

MAP P18 A a-2 奈良市

通常非公開 重要文化財「礼堂」特別拝観

鑑真和上の教えが伝わる律宗の総本山。奈良時代建立の金堂や講堂を僧侶がご案内。通常非公開の礼堂で釈迦如来立像(重文)や日供舎利塔(重文)を特別参拝。

開催日 2021年12/11(土)、12/12(日)
2022年1/22(土)、1/23(日)、2/11(金)・(祝)、2/12(土)、2/13(日)、2/20(日)、3/12(土)、3/13(日)
10:00～/14:00～(所要時間：約60分)

参加費 大人：2,500円　高校生以下：1,000円

最少催行人数 2名　定員(1回) 40名

奈良時代建立の金堂

西大寺（さいだいじ）

MAP P18 A a-1 奈良市

愛染堂客殿で狩野派襖絵を特別拝観

南都七大寺のひとつ西大寺で、通常非公開の愛染堂客殿にて僧侶によるご法話を拝聴。室町から江戸時代の御用絵師の門閥であった狩野派による襖絵もご覧いただきます。全堂拝観券付。

開催日 2022年1/17(月)、1/22(土)、1/30(日)
14:00～（所要時間：約90分）

参加費 大人2,000円、小学生1,000円

最少催行人数 5名　定員(1回) 20名

通常非公開の愛染堂客殿

談山神社（たんざんじんじゃ）

MAP P19 D b-2 桜井市

こんな経験できるなんて！ 本物の装束を着て神拝詞奏上体験！

大化改新の舞台にもなった歴史深い土地に佇む談山神社で本物の装束を着て神拝詞奏上体験。由緒ある建物をバックに自由に撮影ＯＫ！

開催日 2021年12/1(水)～2022年3/31(木)
(除外日12/28～1/5)
13:30～(所要時間：約120分)

参加費 ￥4,000　最少催行人数 2名　定員(1回) 6名

境内にて自由撮影ＯＫ

慈光院（じこういん）

MAP P19 C c-1 大和郡山市

はじめてでも大丈夫！ 一汁三菜 気軽なお茶事

茶人・片桐石州が建立した禅寺・慈光院で、心身を養う精進料理・一汁三菜の気軽なお茶事はいかが。自然に溶け込んだもてなしにふれるひとときを。

開催日 2021年12/3(金)、12/4(土)、12/5(日)、12/24(金)、12/25(土)、12/26(日)
2022年1/7(金)、1/8(土)、1/9(日)、1/21(金)、1/22(土)、1/23(日)、2/4(金)、2/5(土)、2/6(日)、2/18(金)、2/19(土)、2/20(日)、3/4(金)、3/5(土)、3/6(日)、3/18(金)、3/19(土)、3/20(日)
11:00～(所要時間：約120分)

参加費 ￥8,000　最少催行人数 2名　定員(1回) 5名

庭園から見た書院

法隆寺（ほうりゅうじ）

MAP P19 C c-1 斑鳩町

世界遺産法隆寺を特別に僧侶のご案内で参拝

7世紀に創建された聖徳太子ゆかりの法隆寺。世界最古の木造建築群から大宝蔵院、夢殿までの贅沢な約2時間を僧侶のご案内で参拝していただきます。

開催日 2022年1/23(日)、1/30(日)、2/13(日)、2/27(日)
10:00～(所要時間：約120分)

参加費 大人：1,900円　小学生：950円

最少催行人数 1名　定員(1回) 40名

五重塔と金堂

金峯山寺（きんぷせんじ）

MAP P20 H c-2 吉野町

金峯山寺 修験僧侶(山伏)と金峯山寺内諸堂一日ミニ修行

修験僧侶（山伏）と金峯山寺内の諸堂を勤行。護摩供や法話を拝聴しながら巡ります。昼食は精進料理で、宿坊にて食事作法（じきじさほう）を体験していただきます。蔵王権現さまの御神木「桜ストラップ」進呈。

開催日 2022年2/27(日)、3/5(土)
10:30～（所要時間：約300分）

参加費 5,500円

最少催行人数 10名　定員(1回) 40名

蔵王堂での護摩供(イメージ)

お申し込み・お問い合わせ

他にも特別企画が盛りだくさん!

ご参加には**事前にお申し込み**が必要です。（開催日の4日前までにお申し込みください。）
最少催行人数に満たない場合、開催日の10日前に中止とすることがあります。

※全コース、神職や僧侶のご案内付き。　※行事等により催行中止になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュール・内容等変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

TEL：0742-81-8680 9:00 ～ 17:00（土日祝・年末年始除く）
うまし奈良めぐり実行委員会事務局（奈良県ビジターズビューロー内）

詳しくは、
うまし奈良めぐり　検索

『祈りの回廊』読者プレゼント!!

応募期間 2021年10月1日～2022年2月28日まで

皆様のご感想・ご意見を今後の参考にさせていただくために本誌アンケートへのご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で「祈りの回廊 オリジナル一筆箋」をプレゼント!!

【動作条件】●ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。『iOS（iPhone iPad）=Safari』『Android=Chrome』●リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、上記ブラウザをご利用ください。●上記ブラウザを使用しても正常に動作しない場合は、『シークレットモード/プライベートモードを解除』『cookieとJava scriptをオン』の状態でアクセスいただきますようお願いします。

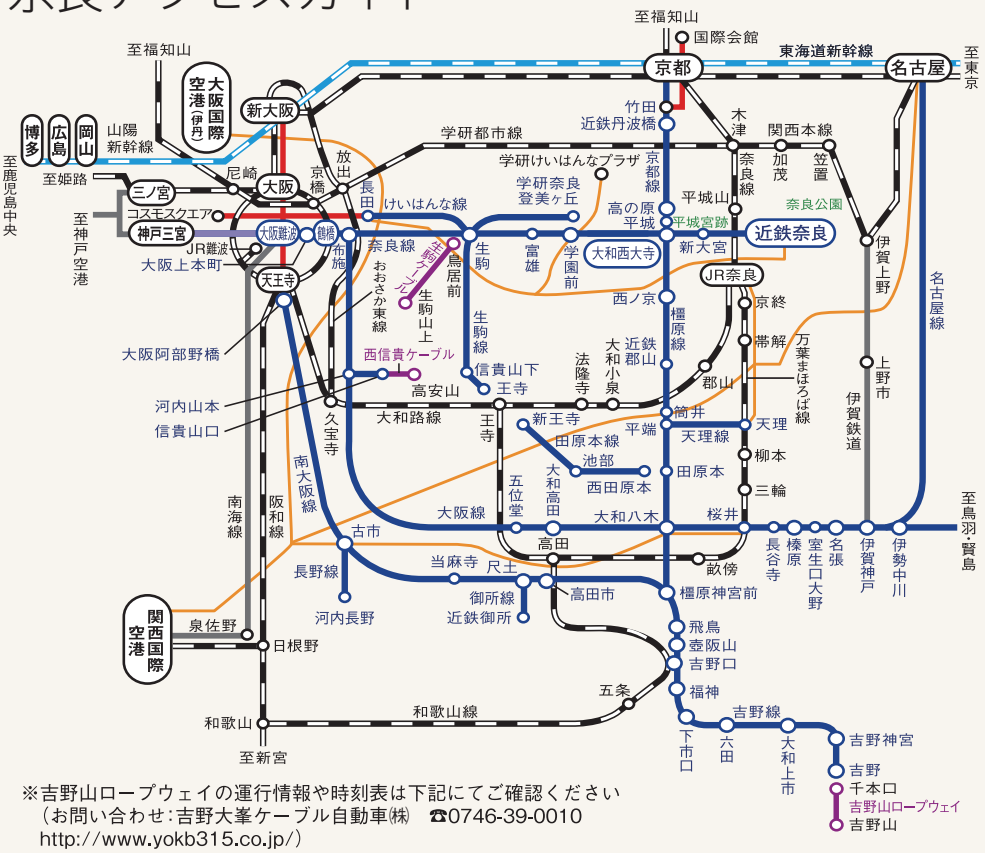
アンケートはこちら

https://qlear.cloud/kspkk/inori_21akihuyu

抽選で 祈りの回廊 オリジナル一筆箋 プレゼント!!

※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

奈良アクセスガイド



※吉野山ロープウェイの運行情報や時刻表は下記にてご確認ください
（お問い合わせ：吉野大峯ケーブル自動車㈱　☎0746-39-0010
http://www.yokb315.co.jp/）

交通のお問い合わせ

JR 西日本お客様センター
☎ 0570-00-2486

近鉄電車テレフォンセンター
☎ 050-3536-3957

奈良交通お客様サービスセンター
☎ 0742-20-3100

奈良交通総合予約センター
（高速・リムジンバス等）
☎ 0742-22-5110

奈良県タクシー協会
☎ 0743-57-0073

新幹線 / JR線 / 近鉄線 / 奈良交通高速・リムジンバス
阪神線 / その他私鉄線 / その他地下鉄線 / ロープウェイ・ケーブル

● JR 西日本　奈良へのおトクなきっぷ情報

e5489（JR西日本ネット予約）

JRのきっぷは駅に行かずにネットで予約。

- ますます選べるおトクなきっぷ！
- チケットレスサービスがさらにベンリに！
- 見やすい画面でスムーズ予約！
- 予約時間が23:30まで延長！
- 女性専用席の予約が可能に！
- コンビニなどで現金払いが可能に！

**さらに J-WEST カードにご入会いただくと、
eきっぷなど会員限定の
割引きっぷをご利用いただけます！**

e5489を利用して京都駅・新大阪駅・大阪駅・天王寺駅まで新幹線・特急にご乗車の場合にお求めになれる、奈良・大阪・京都エリアのＪＲ西日本の普通列車に乗り放題の「奈良満喫フリーきっぷ」の設定もございます。

列車時刻やおトクなきっぷなどのご利用条件等、詳しくはJR西日本の主な駅のパンフレットまたは JRおでかけネット 検索 でご確認ください。

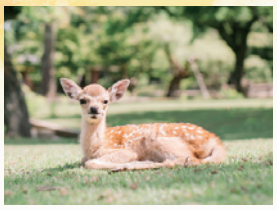
時刻・運賃・商品情報などのお問い合わせは
JR西日本お客様センター TEL.0570-00-2486
京阪神地区(6:00～23:00) 年中無休（固定電話からは市内通話料でご利用可能です。）

JR西日本

●近鉄のおトクな情報

わたしは、奈良派。

知っているつもりで訪ねると、
知らない物語がいっぱい。
奈良の旬なおでかけ情報を
お届けします。



公式インスタグラム
@watashiha_naraha_official

公式Webサイト

お得なきっぷ情報
奈良世界遺産フリーきっぷ
近鉄電車往復乗車券とフリー区間の近鉄電車・奈良交通バスが自由に乗降できるきっぷを割引セット。

近鉄電車テレフォンセンター
050-3536-3957 / 8:00-21:00 / 年中無休

近鉄 きっぷ情報 検索

近鉄

大和路秀麗八十八面観音巡礼公式ホームページ

「八十八面観音巡礼」は仏教文化が深く息づく奈良の八寺院を訪れ、麗しい十一面観音を巡礼する旅。
人生における全ての厄災から救われる巡礼として信仰を集めています。

- 八十八面観音様を無理なく巡礼いただけるモデルコース紹介
- 八十八面特別ご朱印のいただき方も詳しく解説
- 「朝一番の境内ぐるり360°」で八ヶ寺の清々しい空気感が伝わってまいります

http://yamatoji88.jp/　八十八面観音巡礼　検索

次回の大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会はコロナ禍の状況を鑑み、来春以降開催の予定です。決定次第ホームページでお知らせいたします。

祈りの回廊 http://inori.nara-kankou.or.jp/　奈良県観光[公式サイト]あをによし なら旅ネット http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/

奈良県観光局 観光プロモーション課　〒630-8501 奈良市登大路町30番地　TEL:0742-27-8482　FAX:0742-27-3510

※当誌面掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。　※本記載内容は2021年8月現在のものであり、内容が変更となる場合があります。